

GD シリーズ Wave Inspire HUB

オペレーションマニュアル

おことわり

- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
- 本マニュアルの内容に関しては、改良のため予告なしに仕様などを変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本マニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お手数ですが、弊社支店または営業所までご連絡ください。その際、巻末記載の Man.No.（マニュアル No.）も併せてお知らせください。

商標

- Microsoft、Windows、Excel、Visual Basic、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ODVA、CIP、CompoNet、DeviceNet、EtherNet/IP は ODVA の商標です。
- Intel、Intel ロゴ、Intel Core、Celeron、Xeon、Intel Atom は、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- Modbus は、Schneider Electric USA Inc.の登録商標です。
- CC-Link IE Field Basic、CC-Link IE Field、CC-Link IE TSN は三菱電機株式会社の登録商標であり、CC-Link 協会が管理する商標です。

その他、本文中に掲載している会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

著作権

- スクリーンショットはマイクロソフトの許諾を得て使用しています。

はじめに

本マニュアルは、Wave Inspire HUB をご使用になるうえで必要な情報を記載しています。お使いになる前に本マニュアルをよくお読みいただき、機能や性能などを十分ご理解のうえ正しくご使用ください。また、お読みになったあとも本マニュアルは大切に保管して、いつも手元に置いてお使いください。

- 登場する商標、または登録商標は、所有する各社に帰属します。

対象となる読者の方々

本マニュアルは、電気の知識（電気工事士あるいは同等の知識）を有する、次の方を対象に記述しています。

- FA 機器の導入を担当される方
- FA システムを設計される方
- FA 機器を設置、接続される方
- FA 現場を管理される方

対象となる製品

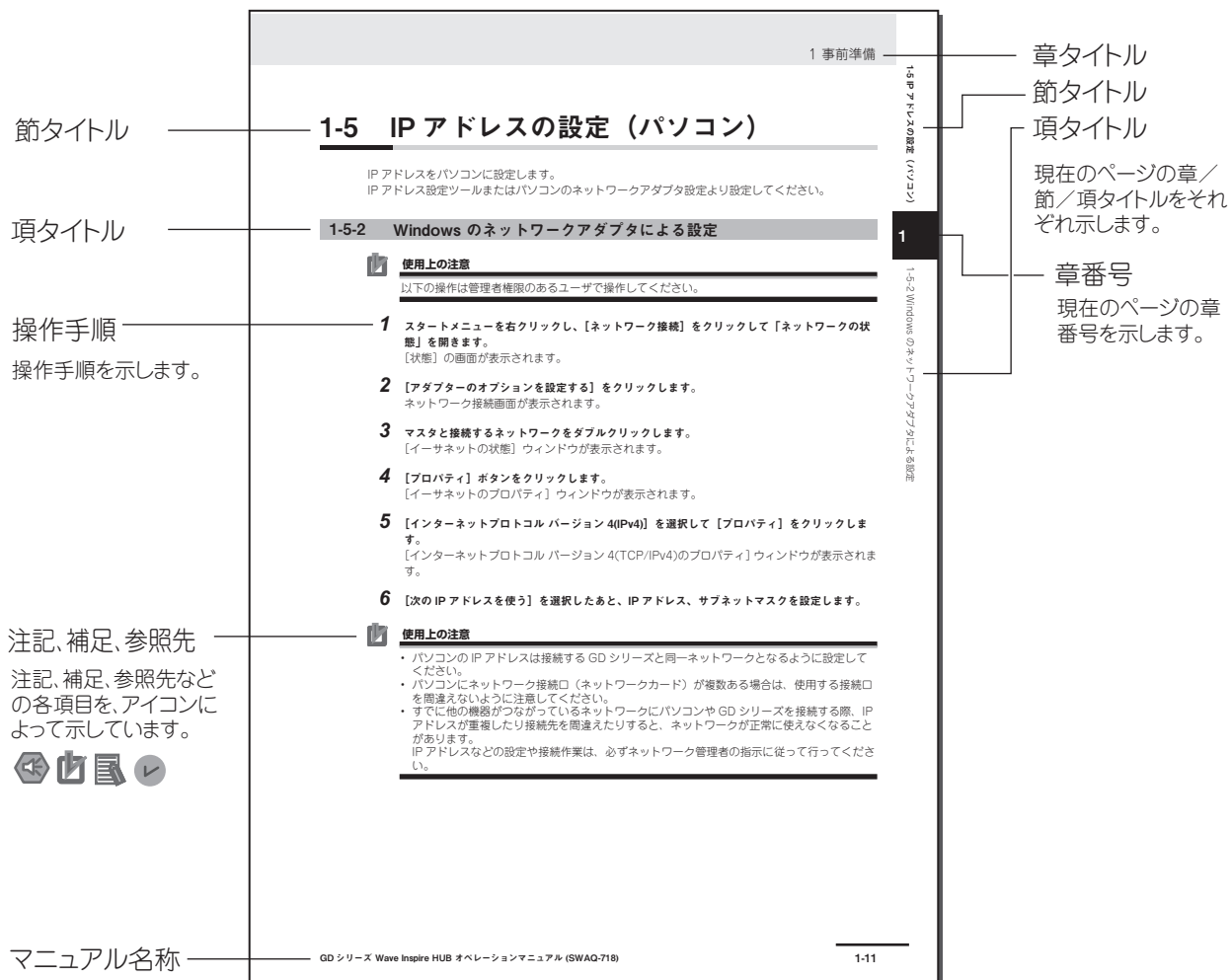
本マニュアルは以下の製品を対象にしています。

- GD シリーズ Wave Inspire HUB
- GD シリーズ IO-Link マスタユニット
 - 形 GD-ILM□□□-MLP
 - 形 GD-ILM□□□-CLI

マニュアルの読み方

ページ構成

このマニュアルの各ページの構成は次のとおりです。



このページは、説明用の見本です。実際の内容とは異なります。

アイコン

このマニュアルで使われているアイコンには、次のような意味があります。

重要

操作する上で守っていただきたいことや、使い方のアドバイスなど、その性能について特に大切なポイントがまとめられています。



参考

必要に応じて読んでいただきたい項目です。
知っておくと便利な情報や、使用する上で参考となる内容について説明しています。



バージョン関連情報

製品やサポートソフトのバージョンによる性能や機能の違いについて説明しています。

表記についての留意事項

- このユーザズマニュアルでは、サポートソフトから実機にデータを転送することを“ダウンロード”、実機からデータをサポートソフトに転送することを“アップロード”と記述しています。

目次構成

		1
1	事前準備	2
2	モニタリング画面	3
3	設定画面	4
4	トラブルシューティング	

目次

はじめに.....	1
対象となる読者の方々	1
対象となる製品.....	1
マニュアルの読み方	2
ページ構成.....	2
アイコン	3
表記についての留意事項	3
目次構成.....	5
ご承諾事項.....	8
安全上の注意	10
安全に使用していただくための表示と意味.....	10
図記号の説明.....	10
警告	10
使用上の注意	12
関連マニュアル	13
マニュアル改訂履歴	14

第 1 章 事前準備

1-1 ツールの概要.....	1-2
1-2 動作環境.....	1-3
1-3 システム構成.....	1-4
1-4 インストール／アンインストール	1-6
1-5 IP アドレスの設定（パソコン）	1-7
1-5-1 IP アドレス設定ツールによる設定	1-7
1-5-2 Windows のネットワークアダプタによる設定.....	1-11
1-6 IP アドレスの設定（マスタユニット）	1-12
1-6-1 形 GD-ILM□□□□-MLP の場合	1-12
1-6-2 形 GD-ILM□□□□-CLI の場合	1-12
1-7 起動・接続.....	1-14

第 2 章 モニタリング画面

2-1 グリッド表示.....	2-2
2-1-1 グリッド表示画面	2-2
2-1-2 モード表示／デバイスアイコン	2-3
2-1-3 ラベル名.....	2-3
2-2 リスト表示.....	2-5
2-3 詳細表示.....	2-6
2-4 ツールバー	2-8
2-4-1 アドレスコメント表を CSV で出力する.....	2-9

2-4-2	すべての設定を CSV で出力する	2-11
-------	-------------------------	------

第 3 章 設定画面

3-1	基本機能.....	3-2
3-2	初回画面.....	3-3
3-3	画面構成.....	3-5
3-4	基本設定.....	3-7
3-4-1	設定値を転送する	3-7
3-4-2	設定値を読み出す	3-7
3-4-3	機器設定値を更新する	3-8
3-4-4	基本設定一覧	3-9
3-5	ポートの設定.....	3-10
3-5-1	設定値を転送する	3-10
3-5-2	設定値を読み出す	3-11
3-5-3	機器設定値を更新する	3-11
3-5-4	ポート設定一覧	3-11
3-6	詳細設定画面.....	3-13
3-6-1	IO-Link デバイスの設定値を転送する	3-13
3-6-2	IO-Link デバイスの設定値を読み出す	3-14
3-6-3	IO-Link デバイスの設定値を更新する	3-14
3-7	設定の複製.....	3-15
3-8	エクスポート・インポート.....	3-18
3-8-1	エクスポート・インポート機能	3-18
3-8-2	エクスポート・インポート対象	3-18
3-8-3	エクスポート	3-19
3-8-4	インポート	3-19
3-9	IODD ファイル設定.....	3-21
3-9-1	本ツールに追加されている IODD ファイルを確認する	3-21
3-9-2	IODD ファイルを追加する	3-22
3-9-3	IODD ファイルを削除する	3-25
3-10	オフライン時の使用例	3-26

第 4 章 トラブルシューティング

4-1	エラー表示.....	4-2
4-1-1	ワーニング／エラー表示.....	4-2
4-1-2	ツールバーエラー表示	4-2
4-2	よくあるご質問	4-4

ご承諾事項

「当社商品」について特別の合意がない場合には、お客様のご購入先にかかわらず、本ご承諾事項記載の条件を適用いたします。

定義

本ご承諾事項中の用語の定義は次のとおりです。

- ・「当社商品」：「当社」の FA システム機器、汎用制御機器、センシング機器、電子・機構部品
- ・「カタログ等」：「当社商品」に関する、ベスト制御機器オムロン、電子・機構部品総合カタログ、その他のカタログ、仕様書、取扱説明書、マニュアル等であって電磁的方法で提供されるものも含みます。
- ・「利用条件等」：「カタログ等」に記載の、「当社商品」の利用条件、定格、性能、動作環境、取り扱い方法、利用上の注意、禁止事項その他
- ・「お客様用途」：「当社商品」のお客様におけるご利用方法であって、お客様が製造する部品、電子基板、機器、設備またはシステム等への「当社商品」の組み込み、または利用を含みます。
- ・「適合性等」：「お客様用途」での「当社商品」の(a)適合性、(b)動作、(c)第三者の知的財産の非侵害、(d)法令の遵守および(e)各種規格の遵守

記載事項のご注意

「カタログ等」の記載内容については次の点をご理解ください。

- ・定格値および性能値は、単独試験における各条件のもとで得られた値であり、各定格値および性能値の複合条件のもとで得られる値を保証するものではありません。
- ・参考データはご参考として提供するもので、その範囲で常に正常に動作することを保証するものではありません。
- ・利用事例はご参考ですので、「当社」は「適合性等」について保証いたしかねます。
- ・「当社」は、改善や当社都合等により、「当社商品」の生産を中止し、または「当社商品」の仕様を変更することがあります。

ご利用にあたってのご注意

ご採用およびご利用に際しては次の点をご理解ください。

- ・定格・性能ほか「利用条件等」を遵守しご利用ください。
- ・お客様ご自身にて「適合性等」をご確認いただき、「当社商品」のご利用の可否をご判断ください。「当社」は「適合性等」を一切保証いたしかねます。
- ・「当社商品」がお客様のシステム全体の中で意図した用途に対して、適切に配電・設置されていることをお客様ご自身で、必ず事前に確認してください。
- ・「当社商品」をご使用の際には、(i)定格および性能に対し余裕のある「当社商品」のご利用、冗長設計などの安全設計、(ii)「当社商品」が故障しても、「お客様用途」の危険を最小にする安全設計、(iii)利用者に危険を知らせるための、安全対策のシステム全体としての構築、(iv)「当社商品」および「お客様用途」の定期的な保守、の各事項を実施してください。
- ・「当社」は DDoS 攻撃（分散型 DoS 攻撃）、コンピュータウイルスその他の技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、「当社商品」、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他の費用について一切責任を負わないものとします。

お客様ご自身にて、①アンチウイルス保護、②データ入出力、③紛失データの復元、④「当社商品」またはインストールされたソフトウェアに対するコンピュータウイルス感染防止、⑤「当社商品」に対する不正アクセス防止についての十分な措置を講じてください。

- ・「当社商品」は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用は意図しておらず、お客様が「当社商品」をこれらの用途に使用される際には、「当社」は「当社商品」に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても「当社」の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。
 - a) 高い安全性が必要とされる用途（例：原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及ぶ用途）
 - b) 高い信頼性が必要な用途（例：ガス・水道・電気等の供給システム、24 時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など）
 - c) 厳しい条件または環境での用途（例：屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など）
 - d) 「カタログ等」に記載のない条件や環境での用途
- ・上記の(a)から(d)に記載されている他、「本カタログ等記載の商品」は自動車（二輪車含む。以下同じ）向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないで下さい。自動車搭載用商品については当社営業担当者にご相談ください。

保証条件

「当社商品」の保証条件は次のとおりです。

- ・保証期間 ご購入後 1 年間といたします。
（ただし「カタログ等」に別途記載がある場合を除きます。）
- ・保証内容 故障した「当社商品」について、以下のいずれかを「当社」の任意の判断で実施します。
 - a) 当社保守サービス拠点における故障した「当社商品」の無償修理
（ただし、電子・機構部品については、修理対応は行いません。）
 - b) 故障した「当社商品」と同数の代替品の無償提供
- ・保証対象外 故障の原因が次のいずれかに該当する場合は、保証いたしません。
 - a) 「当社商品」本来の使い方以外のご利用
 - b) 「利用条件等」から外れたご利用
 - c) 本ご承諾事項「ご利用にあたってのご注意」に反するご利用
 - d) 「当社」以外による改造、修理による場合
 - e) 「当社」以外の者によるソフトウェアプログラムによる場合
 - f) 「当社」からの出荷時の科学・技術の水準では予見できなかった原因
 - g) 上記のほか「当社」または「当社商品」以外の原因（天災等の不可抗力を含む）

責任の制限

本ご承諾事項に記載の保証が、「当社商品」に関する保証のすべてです。

「当社商品」に関連して生じた損害について、「当社」および「当社商品」の販売店は責任を負いません。

輸出管理

「当社商品」または技術資料を、輸出または非居住者に提供する場合は、安全保障貿易管理に関する日本および関係各国の法令・規制を遵守ください。お客様が法令・規則に違反する場合には、「当社商品」または技術資料をご提供できない場合があります。

安全上の注意

安全に使用していただくための表示と意味

このマニュアルでは、GD シリーズ Wave Inspire HUB を安全にご使用いただくために、注意事項を次のような表示と図記号で示しています。

ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ずお守りください。



警告

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。また、同様に重大な物的損害をもたらすおそれがあります。

図記号の説明



- 記号は、強制を意味しています。
具体的な内容は、● の中と文章で示します。
左図の場合は、「一般的な強制事項」を表します。

警告



警告

アンチウイルス保護

制御システムに接続するパソコンへの最新の商用品質のウイルス対策ソフトの導入および保守を行ってください。



不正アクセスの防止

当社商品に対して、以下の不正アクセス防止対策を行ってください。

- 権限保有者だけを制御システムや装置へアクセス可能とする物理的統制の導入
- 制御システムや装置のネットワーク接続を最小限に抑えることによる、信頼できないデバイスからのアクセス防止
- ファイアウォールの導入による IT ネットワークからの分離（未使用通信ポートの遮断、通信ホストの制限）
- 制御システムや装置へのリモートアクセスが必要な場合における、仮想プライベートネットワーク(VPN)の使用
- 制御システムや装置へのリモートアクセスにおける多要素認証の導入
- 強固なパスワードの採用と頻繁な変更
- 制御システムや装置で USB メモリなど外部ストレージデバイスを使用する場合の事前ウイルススキャン



データ入出力の保護

制御システムや装置への入出力データの意図せぬ改変に備えた、バックアップや範囲チェックなどの妥当性の確認を行ってください。

- データの範囲チェック
- データの改ざんや異常に備えた、バックアップによる妥当性確認、リストアの準備
- データの改ざんや異常を想定した、緊急停止や縮退運転などの安全設計



紛失データの復元

データ紛失対策として、定期的な設定データのバックアップと保守を行ってください。



グローバルアドレス経由でイントラネット環境を利用する場合、SCADA、HMI などの不正な端末や不正なサーバに接続すると、なりすまし、改ざんなどネットワークセキュリティの問題になる可能性があります。お客様ご自身で、端末へのアクセスの制限、セキュア機能を搭載した端末を使用、設置エリアの施錠などの十分な措置を講じてください。



イントラネットを構築する場合、ケーブル断線や不正ネットワーク機器の影響により通信障害が発生する可能性があります。
設置エリアの施錠などの方法によって、ネットワーク機器への物理アクセスを制限するなど、十分な措置を講じてください。



SD メモリカード機能を搭載した機器を使用する場合は、リムーバブルメディアの抜き取り、不正アンマウントなどにより、第三者がリムーバブルメディアの中身のファイルやデータを不正取得、改ざん、差し替えなどを行うセキュリティリスクがあります。お客様ご自身で、設置エリアの施錠、入室管理などの方法によって、コントローラへの物理アクセスを制限したり、リムーバブルメディアの適切な管理対策を行ったりするなどの十分な措置を講じてください。



Wave Inspire HUB のセキュリティ対策

- 本ソフトウェアを使用するパソコンにウィルス対策ソフトを導入し、パソコンがウィルスに感染するリスクを低減させてください。
また、ウィルス対策ソフトは常に最新の状態にしてください。
- OS の脆弱性に起因するセキュリティリスクを回避するために、本ソフトウェアを使用するパソコンの OS を常に最新の状態にしてください。
OS もしくは本ソフトウェアで設定するユーザー名やパスワードについて、他人から不正に利用されないよう適切な設定・管理をしてください。
- 機能の追加や操作性の改善、セキュリティの強化のため、本ソフトウェアは、常に最新のバージョンにアップデートしてお使いください。
- 制御システムや装置のネットワークはファイアウォール（未使用通信ポートの遮断、通信ホストの制限）を導入し、IT ネットワークからの分離を行い、本ソフトウェアの制御システムへの接続はファイアウォール内で行うようにしてください。
- 本ソフトウェアから制御システムや装置へのリモートアクセスが必要な場合は仮想プライベートネットワーク(VPN)を使用してください。



使用上の注意

設定変更時は、装置を停止していただくなど、安全をご確認されたうえで行ってください。

関連マニュアル

関連するマニュアルは下表のとおりです。併せてご覧ください。

マニュアル名称	Man.No.	形式	内容
GD シリーズ IO-Link マスタユニット（マルチネットワーク対応）ユーザーズマニュアル 共通編	SWAQ-712	形 GD-ILM □□□-MLP	本機の共通機能・性能および操作に関して記載しています。
GD シリーズ IO-Link マスタユニット（CC-Link IE Field/TSN 対応）ユーザーズマニュアル	SWAQ-713	形 GD-ILM □□□-CLI	本機の共通機能・性能および操作に関して記載しています。
GD シリーズ IO-Link マスタユニット（マルチネットワーク対応）ユーザーズマニュアル EtherNet/IP 編	SWAQ-714	形 GD-ILM □□□-MLP	上位ネットワークとして「EtherNet/IP」を使用した場合の必要な情報を記載しています。
GD シリーズ IO-Link マスタユニット（マルチネットワーク対応）ユーザーズマニュアル Ethernet & Modbus/TCP 編	SWAQ-716	形 GD-ILM □□□-MLP	上位ネットワークとして「Ethernet & Modbus/TCP」を使用した場合の必要な情報を記載しています。
GD シリーズ IO-Link マスタユニット（マルチネットワーク対応）ユーザーズマニュアル CC-Link IE Field Basic 編	SWAQ-717	形 GD-ILM □□□-MLP	上位ネットワークとして「CC-Link IE Field Basic」を使用した場合の必要な情報を記載しています。

マニュアル改訂履歴

マニュアル改訂記号は、表表紙・裏表紙に記載されている Man.No.の後尾に付記されます。

Man.No.	SWAQ-718B
---------	------------------

↑ 改訂記号

改訂記号	改訂年月	改訂理由・改訂ページ
A	2026 年 2 月	初版
B	2026 年 3 月	誤記修正

事前準備

1-1	ツールの概要	1-2
1-2	動作環境	1-3
1-3	システム構成	1-4
1-4	インストール／アンインストール	1-6
1-5	IP アドレスの設定（パソコン）	1-7
1-5-1	IP アドレス設定ツールによる設定	1-7
1-5-2	Windows のネットワークアダプタによる設定	1-11
1-6	IP アドレスの設定（マスタユニット）	1-12
1-6-1	形 GD-ILM□□□-MLP の場合	1-12
1-6-2	形 GD-ILM□□□-CLI の場合	1-12
1-7	起動・接続	1-14

1-1 ツールの概要

Wave Inspire HUB（以下、本ツールと呼びます）は、IO-Link マスタユニット（GD シリーズ）の通信設定ができるだけでなく、IO-Link マスタユニット（GD シリーズ）に接続された IO-Link デバイスの設定一括送信や、測定値や判定結果をパソコン上のモニタ画面で簡単に確認できるソフトウェアです。

Wave Inspire HUB は当社 Web サイトからダウンロードできます。
<http://www.fa.omron.co.jp/>



参考

本ツールは当社レーザ変位センサ（ZP-L シリーズ）にも接続できます。

● Wave Inspire HUB の使用範囲

Wave Inspire HUB は、各ポート（デバイス）の測定データを確認し、設定のサポートに使用できるソフトウェアです。



1-2 動作環境

下記動作環境にて使用してください。

● ツールハードウェア環境

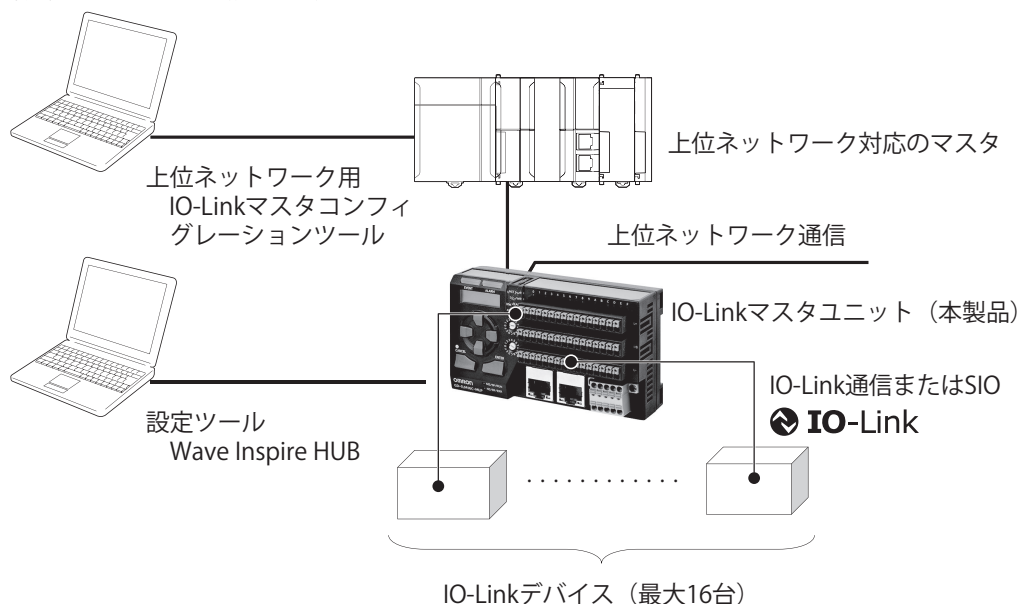
項目	説明
モニタ解像度	1920×1080 以上
プロセッサ	Intel® Core(TM) i5-6200U CPU 2.30GHz 以上
メモリ	4GB 以上
インタフェース	Ethernet(1000BASE-T)
ストレージ容量	10GB 以上

● ソフトウェア環境

項目	説明
OS	Windows11 64 ビット
実行環境	.NET8

1-3 システム構成

標準的なシステム構成は以下のとおりです。



(注) IO-Link マスタユニット (形 GD-ILM□□□□-CLI) の「M2.ネットワーク種類」が「CC-Link IE Field」に設定されている場合、本ツールと接続することはできません。

● 本ツールで対応している IO-Link 規格

IO-Link 1.1

● 本ツールで動作を保証する IO-Link デバイス

商品カテゴリ	商品名称	対象機種
光電センサ	形 E3AS-HF 光電センサ	形 E3AS-HF6000SMT 形 E3AS-HF6000DMT
	形 E3AS-HL 光電センサ	形 E3AS-HL□□D 形 E3AS-HL□□T
	形 E3AS-F/E3AS-L 光電センサ	形 E3AS-F□□D 形 E3AS-F□□T 形 E3AS-L□□D 形 E3AS-L□□T
	IO-Link 光電センサ	形 E3Z-□-IL□ 形 E3Z-□-IL□-UL
	IO-Link カラーマーク光電センサ	形 E3S-DCP21-IL□
近接センサ	E2E/E2EQ NEXT シリーズ 近接センサ	形 E2E(Q)-X□B1D□ 形 E2E(Q)-X□B1T□ 形 E2E(Q)-X□B3D□
	E2EW シリーズ 近接センサ	形 E2EW-X□B1D□ 形 E2EW-X□B1T□ 形 E2EW-X□B3D□ 形 E2EW-X□B3T□
	IO-Link 近接センサ	形 E2E-□-IL□ 形 E2EQ-□-IL□
流量センサ	IoT 液体流量センサ	形 E8FC-25SD/25ST 形 E8FC-25D/25T/25

商品カテゴリ	商品名称	対象機種
圧力センサ	IoT 液体圧力センサ	形 E8PC-010SD/010ST/100SD/100ST/ 400SD/400ST/010SD-E/010ST-E/ 100SD-E/100ST-E/400SD-E/400ST-E 形 E8PC-010D/010T/010/100D/100T/ 100/400D/400T/400/010D-E/010T-E/ 010-E/100D-E/100T-E/100-E/400D-E/ 400T-E/400-E
セーフティセンサ	インテリジェントタップ（セーフティラ イトカーテン／マルチビームセーフティ センサ 形 F3SG-SR/PG 用）	形 F39-SGIT-IL3
信号変換器	IO-Link AD コンバータ	形 K3CV
耐環境型リモート ターミナル	NXR シリーズ	形 NXR-□D166C-IL2
レーザ変位センサ	レーザ変位センサ IO-Link 通信対応 ア ンプユニット	形 ZP-L39□□-IL3
ファイバセンサ	スマートファイバアンプ	形 E3NX-FA□□-IL□
光電センサ	デジタルアンプ分離光電センサ レーザ タイプ アンプユニット	形 E3C-LDA□□N-IL□



参考

上記以外の IO-Link デバイスも接続可能です（動作保証外となります）。

1-4 インストール／アンインストール

インストールの実行

本ツールは、オムロンの Web サイトの商品情報ページからダウンロードができます。

ダウンロードしたファイルの実行ファイル（exe ファイル）を実行すると、インストーラが起動します。その後、インストーラの指示に従ってインストールの実行をしてください。インストール時に、パソコンの IP アドレスの設定を行いたい場合は、「1-5-1 IP アドレス設定ツールによる設定 (P.1-7)」を参照してください。

Wave Inspire HUB のプログラムファイルは以下のフォルダにインストールされます。
C:\Program Files\OMRON\Wave Inspire HUB



使用上の注意

インストール時は、Administrator 権限を持つユーザでログインしてください。

アンインストールの実行

アンインストール時は、Administrator 権限を持つユーザでログインしてください。
本ツールを削除する場合は、Windows のコントロールパネルからアンインストールをしてください。

フォルダ構成

インストール時、以下フォルダが自動的に作成されます。
フォルダ構成と各フォルダの説明を以下に示します。

C:\OMRON\Application\Wave Inspire Hub	: アプリケーションデータ
├ IODD	: ツールから追加した IODD ファイルが格納されます。
│ └ OMRON Corporation	: OMRON 製デバイスの IODD ファイルが格納されています。
│ └ (Vendor)	: ベンダ名ごとにフォルダが作成されます。
└ Projects	: プロジェクトファイルのデフォルト保存先です。
C:\OMRON\Data\Wave Inspire Hub	: ユーザデータ
├ Logs	: 操作ログ・エラーログが保存されます。
│ └ Wave Inspire GD	
│ └ Wave Inspire Hub	
│ └ Wave Inspire ZP	

1-5 IP アドレスの設定 (パソコン)

IP アドレスをパソコンに設定します。

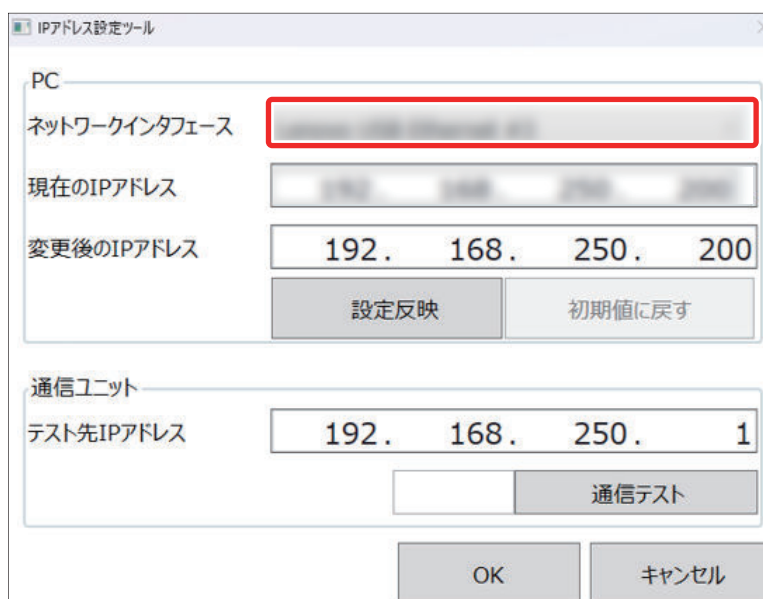
IP アドレス設定ツールまたはパソコンのネットワークアダプタ設定より設定してください。

1-5-1 IP アドレス設定ツールによる設定

- 1 インストーラの完了画面内の、「IP アドレスを設定する」にチェックを入れ、[完了] ボタンをクリックします。



- 2 IP アドレス設定ツールが起動するので、[ネットワークインタフェース] に Ethernet アダプタのデバイス名を指定します。



- 3 パソコン側の IP アドレスを入力し、[設定反映] ボタンをクリックします。

IPアドレス設定ツール

PC

ネットワークインタフェース

現在のIPアドレス

変更後のIPアドレス

192. 168. 250. 200

設定反映 初期値に戻す

通信ユニット

テスト先IPアドレス

192. 168. 250. 1

通信テスト

OK キャンセル

- 4** 通信ユニットの接続確認をしたい場合は、通信ユニットのIPアドレス（デフォルト: 192.168.250.1）を入力し、[通信テスト] ボタンをクリックします。

IPアドレス設定ツール

PC

ネットワークインタフェース

現在のIPアドレス

変更後のIPアドレス

192. 168. 250. 200

設定反映 初期値に戻す

通信ユニット

テスト先IPアドレス

192. 168. 250. 1

通信テスト

OK キャンセル

- 5** [OK] が表示されると、通信接続が完了しています。

IPアドレス設定ツール

PC

ネットワークインタフェース

現在のIPアドレス

変更後のIPアドレス

設定反映 初期値に戻す

通信ユニット

テスト先IPアドレス

OK 通信テスト

OK キャンセル

6 IP アドレス設定完了後、[OK] ボタンをクリックして IP アドレス設定ツールを終了します。

IPアドレス設定ツール

PC

ネットワークインタフェース

現在のIPアドレス

変更後のIPアドレス

設定反映 初期値に戻す

通信ユニット

テスト先IPアドレス

OK 通信テスト

OK キャンセル

● 変更後の IP アドレス設定を反映せずに終了したい場合

変更後の IP アドレス設定を無効にし、起動時の IP アドレスでツールを終了したい場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

● IP アドレスを初期状態に戻したい場合

変更後の IP アドレスをツール起動時の IP アドレスに戻したい場合は、[初期値に戻す] ボタンをクリックしてください。

● インストール後に IP アドレス設定ツールを使用する場合

IP アドレス設定ツール(IPAddressSetupZP)を使用して、パソコンの IP アドレスを設定できます。ツールは以下の場所にあります。

C:\Program Files\OMRON\Wave Inspire HUB\IPAddressSetupZP\IPAddressSetupZP.exe
上記の実行ファイルをダブルクリックして起動してください。

1-5-2 Windows のネットワークアダプタによる設定



使用上の注意

以下の操作は管理者権限のあるユーザで操作してください。

- 1 スタートメニュー（左下の四角）を右クリックし、[ネットワーク接続] をクリックします。
- 2 [ネットワークとインターネット] の設定画面で [イーサネット] をクリックします。
- 3 有線 LAN アダプタを挿すと表示される [イーサネット*] をクリックし [IP 割り当て] の [編集] をクリックします。
- 4 [IP 設定の編集] で [自動(DHCP)] を [手動] に変更します。
- 5 [IPv4] を [オフ] から [オン] にし、設定する IP アドレスを入力します。
- 6 [保存] をクリックします。



使用上の注意

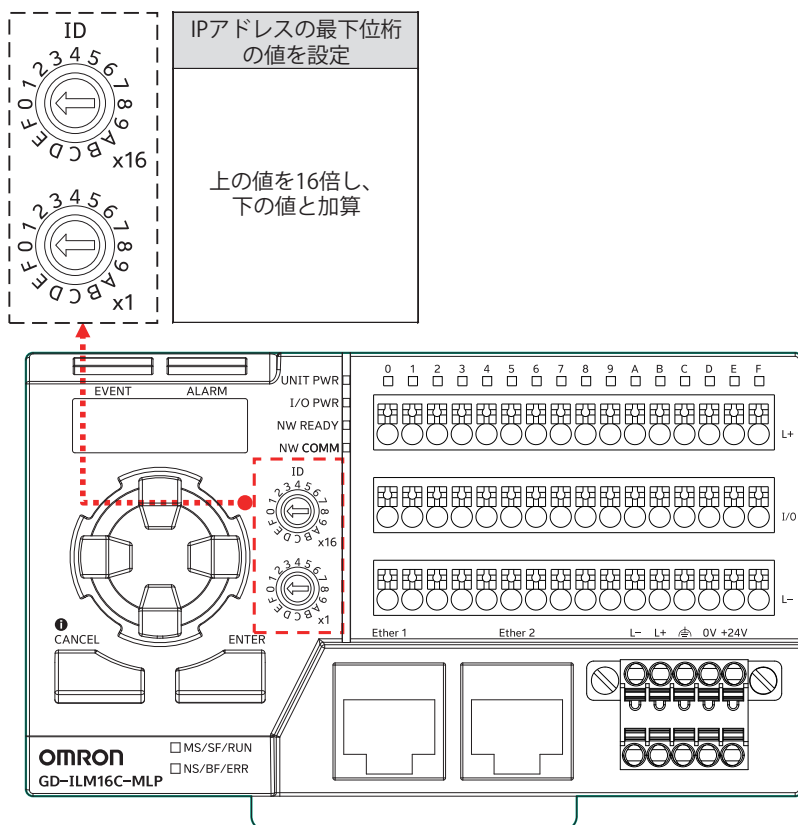
- パソコンの IP アドレスは接続する GD シリーズと同一ネットワークとなるように設定してください。
- パソコンにネットワーク接続口（ネットワークカード）が複数ある場合は、使用する接続口を間違えないように注意してください。
- すでに他の機器がつながっているネットワークにパソコンや GD シリーズを接続する際、IP アドレスが重複したり接続先を間違えたりすると、ネットワークが正常に使えなくなることがあります。
IP アドレスなどの設定や接続作業は、必ずネットワーク管理者の指示に従って行ってください。

1-6 IP アドレスの設定（マスタユニット）

1-6-1 形 GD-ILM□□□-MLP の場合

ネットワークとして IP アドレスの上位 3 オクテッドが「192.168.250.」の場合、電源投入前に、本機の IP アドレスの最下位桁を前面ロータリスイッチで設定します。

本機IPアドレスの最下位桁（192.168.250.nのn）
設定用ロータリスイッチ



（注）図は形 GD-ILM16C-MLP です。形 GD-ILM□□□-MLP および形 GD-ILM□□□-CLI の場合も同様です。

IP アドレスの上位 3 オクテッドが「192.168.250.」以外の場合、本機の前面操作によりマスタユニット設定値の「M82.IP アドレス」を設定してください。IP アドレス設定変更後、本機を再起動することで設定反映されます。

設定方法については、上位ネットワーク種類によって異なります。
ご使用の上位ネットワーク種類に応じたマスタマニュアルの通信編を参照してください。

1-6-2 形 GD-ILM□□□-CLI の場合

1 ネットワーク種類の設定

本機の前面操作によりマスタユニット設定値の「M2.ネットワーク種類」を「CC-Link IE TSN」に設定してください。



使用上の注意

CC-Link IE Field に設定している場合、本ツールとは接続できません。

2 IP アドレスの設定 (局番の設定)

ネットワークとして IP アドレスの上位 3 オクテッドが「192.168.3.」の場合、本機の IP アドレスの最下位桁を前面ロータリースイッチで設定し、本機を再起動してください。

IP アドレスの上位 3 オクテッドが「192.168.3.」以外の場合は、以下の手順で設定してください。

本機の前面操作によりマスタユニット設定値の「M82.IP アドレス」を設定してください。IP アドレス設定変更後、本機を再起動することで設定が反映されます。

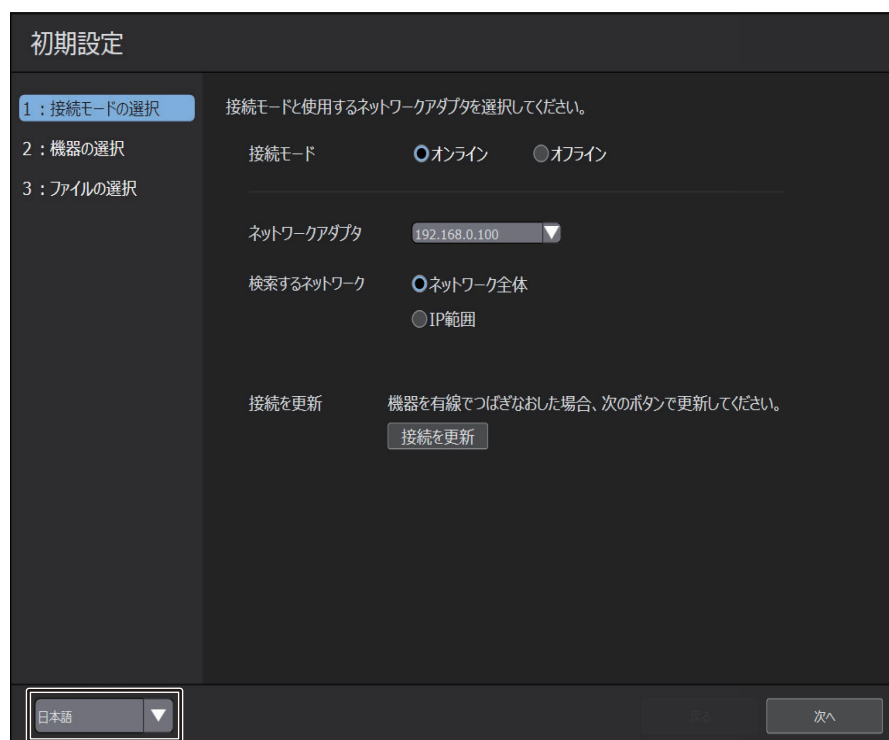
1-7 起動・接続

1 Wave Inspire HUB を起動します。

Windows のプログラム一覧にある「Omron Wave Inspire HUB」をクリックしてください。

- 言語設定

言語の変更を行う場合、画面左下のプルダウンより言語を選択してください。選択可能な言語は「日本語」と「英語」です。

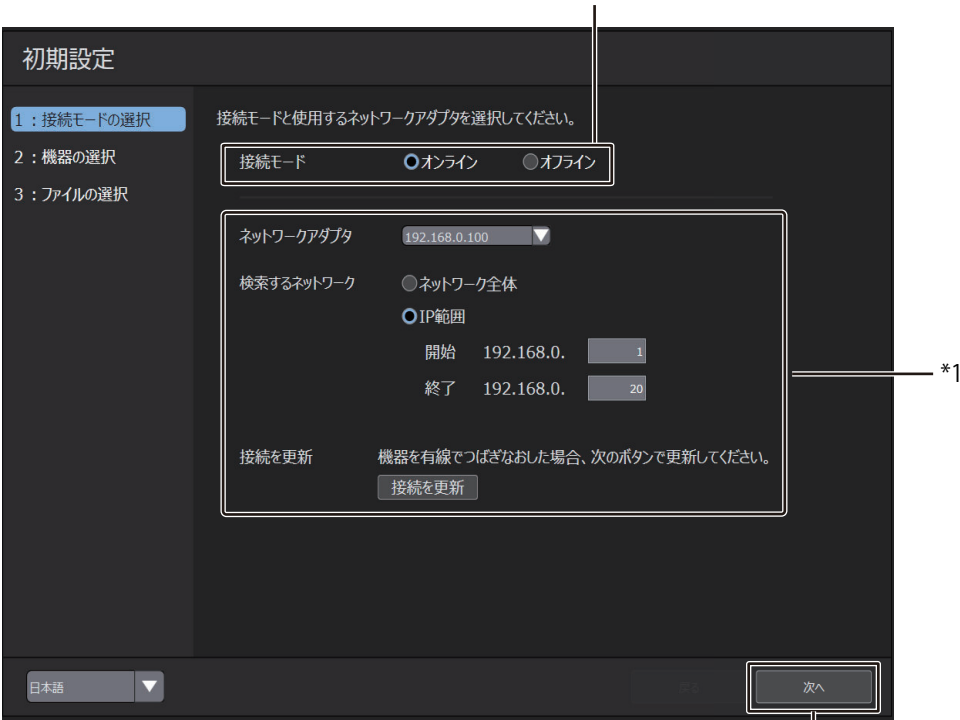


2 「1: 接続モードの選択」

オンライン: 実機に接続して、実際に設定やモニタリングを実施するときに使用します。

オフライン: 実機がない状態でプロジェクトファイルを作成・編集する場合に使用します。

1. オンラインモードまたはオフラインモードを選択します。



2. 次の設定に進みます。

- *1. オンラインモードを選択した場合
ここで選択したネットワーク上に接続されているマスタを次の画面で検索します。プルダウンから使用したいネットワークアダプタを選択してください。
- a) 接続を更新
機器を接続有線で接続し直した場合、**接続を更新** をクリックすることでネットワークアダプタを再検索します。
- b) 検索するネットワークの制限
- ・ [ネットワーク全体] を選択した場合
ネットワークアダプタに設定されている IP アドレスを基準とし、第 4 オクテットを「1～254」の範囲で検索します。
 - ・ [IP 範囲] を選択した場合
検索対象とするネットワーク範囲を任意に限定できます。
ネットワークアダプタの IP アドレスを基準に、第 4 オクテットの開始値および終了値を指定し、その範囲内の IP アドレスを検索します。



本ツールのオンライン／オフライン時の機能一覧

○: 可、×: 不可

機能名	詳細	説明	オンライン	オフライン
モニタリング機能	モニタリング機能	デバイスから取得された測定値をリアルタイムに表示します。	○	×
	ラベル機能	ポートに任意の名称を設定します。	○	×

機能名	詳細	説明	オンライン	オフライン
設定機能	プロジェクトファイルの変更・保存	マスタやデバイスの構成・設定を、編集・保存します。	○	○
	実機の設定を読み出し	実機からポートごとにマスタやデバイスの設定を読み出します。	○	×
	実機への設定の転送	実機へポートごとにマスタやデバイスの設定を転送します。	○	×
	すべての設定を実機から読み出し	マスタやデバイスの全設定を実機から読み出します。	○	×
	すべての設定を実機に転送	マスタやデバイスの全設定を実機に転送します。	○	×
	設定の複製	ポート間で設定をコピーします。	○	○
	設定差分表示	実機とプロジェクトの設定差分を表示します。	○	×
その他の機能	インポート・エクスポート	マスタ設定およびデバイスの設定を XML 形式でインポート・エクスポートします。	○	○
	アドレスコメント表を CSV で出力	IO-Link マスタユニットと PLC 間の通信データの内訳を、CSV 形式で出力します。	○	○
	すべての設定を CSV で出力	マスタ設定およびデバイス設定を CSV 形式で出力します。	○	○

以下は「オンライン」を選択した際の手順です。「オフライン」を選択した場合、4. 「3 ファイルの選択」へ進んでください。

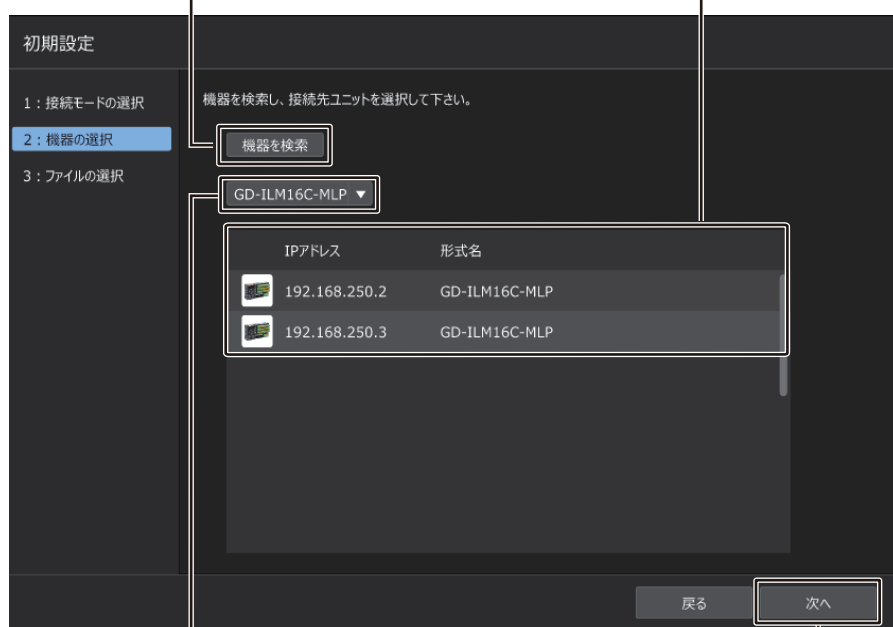
3 「2: 機器の選択」

接続する機器を選択します。

検索対象機器: GD、ZP-EIP

1. ネットワーク上の機器一覧を表示します。

2. 接続する機器を選択します。



機器をフィルタ
接続機器が多い場合、プルダウンから
機器をフィルタすることができます。

3. 次の設定に進みます。

4 「3: ファイルの選択」

プロジェクトファイルの設定を行います。

新規作成: 新規にプロジェクトを作成する場合

既存プロジェクトを選択: すでに作成したプロジェクトを開く場合

- 新規作成

1. プロジェクト名を入力します。
100文字まで入力可能です。

初期設定

1 : 接続モードの選択
2 : 機器の選択
3 : ファイルの選択

プロジェクトファイルの新規作成、既存ファイルの選択をして下さい。

作成方法 ☒ 新規作成 ☐ 既存プロジェクトを選択

ファイル

プロジェクト名
New Project

保存先
C:\OMRON\Application\Wave Inspire Hub\Project

☒ デフォルトの場所を使う

日本語 ▼

戻る

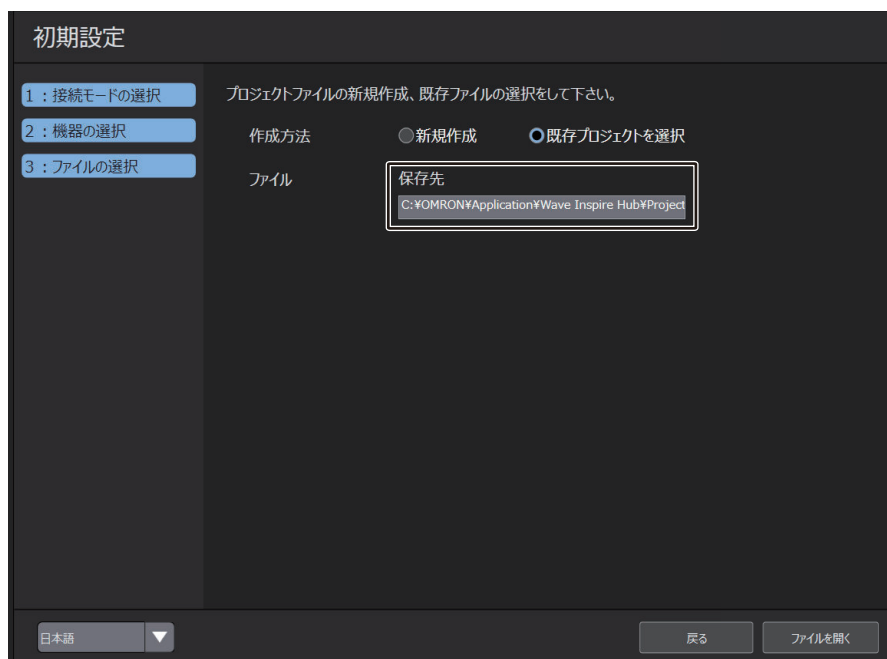
ファイルを開く

2. ファイルが作成されます。



参考

- 保存先を指定
デフォルトの保存先以外にプロジェクトファイルを作成する場合は「デフォルトの場所を使う」のチェックボックスからチェックを外し、保存先入力欄をクリックしてください。任意の保存先が選択可能となります。
- 既存プロジェクトを選択
プロジェクトファイルを選択してください。



「機器の選択」で選択した機器のプロジェクトファイルのみ開くことができます。

		プロジェクトファイル	
		形 GD-ILM16□-MLP	形 GD-ILM16□-CLI
機器の選択	形 GD-ILM16□-MLP	○	×
	形 GD-ILM16□-CLI	×	○

○: 可、×: 不可

5 ポート一括設定

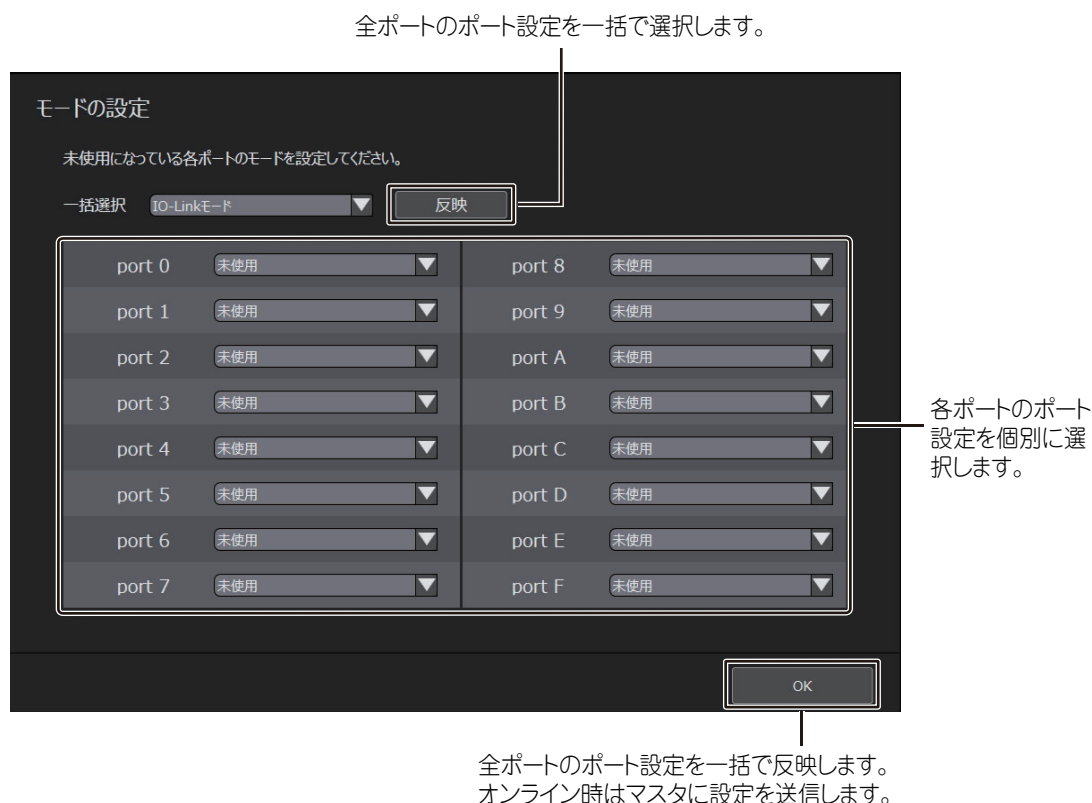
新規プロジェクト作成時、マスタのすべてのポートの I/O 機能設定（「M.10 I/O 機能設定」）を一括で設定する画面です。

本画面は以下の条件のときのみ表示されます。

- ・オンラインで新規プロジェクトの作成時、マスタ実機のポート設定がすべて「未使用」
- ・オフラインで新規プロジェクト作成時
- ・オンラインで既存プロジェクトを開く際、プロジェクトファイルのポート設定がすべて「未使用」

ポート一括設定で選択可能な設定は以下となります。

IO-Link モード／pnp 入力モード／nnp 入力モード／PNP 出力モード／NPN 出力モード／未使用



- 6** プロジェクトで使用されている IO-Link デバイスの IODD ファイルが自動でダウンロードされます。(不足ファイルがある場合のみ実行されます)



使用上の注意

- ダウンロードするファイル数やインターネットとの通信環境により、起動までに数分かかることがあります。
- インターネット未接続時はダウンロードされません。
- 他社デバイスなど IODD ファインダーに登録されていないデバイスの IODD ファイルはダウンロードできません。

あとから手動で入手した IODD ファイルを読み込むことも可能です。(「3-9 IODD ファイル設定 (P.3-21)」を参照)

- 7** **【設定／モニタリング】画面が表示されます。**
 オンライン時: モニタリング画面が表示されます。
 オフライン時: 設定画面が表示されます。

モニタリング画面

モニタリング画面は、マスタの各ポートに接続されているデバイスのプロセスデータ一覧をモニターする画面です（オフライン時には表示されません）。

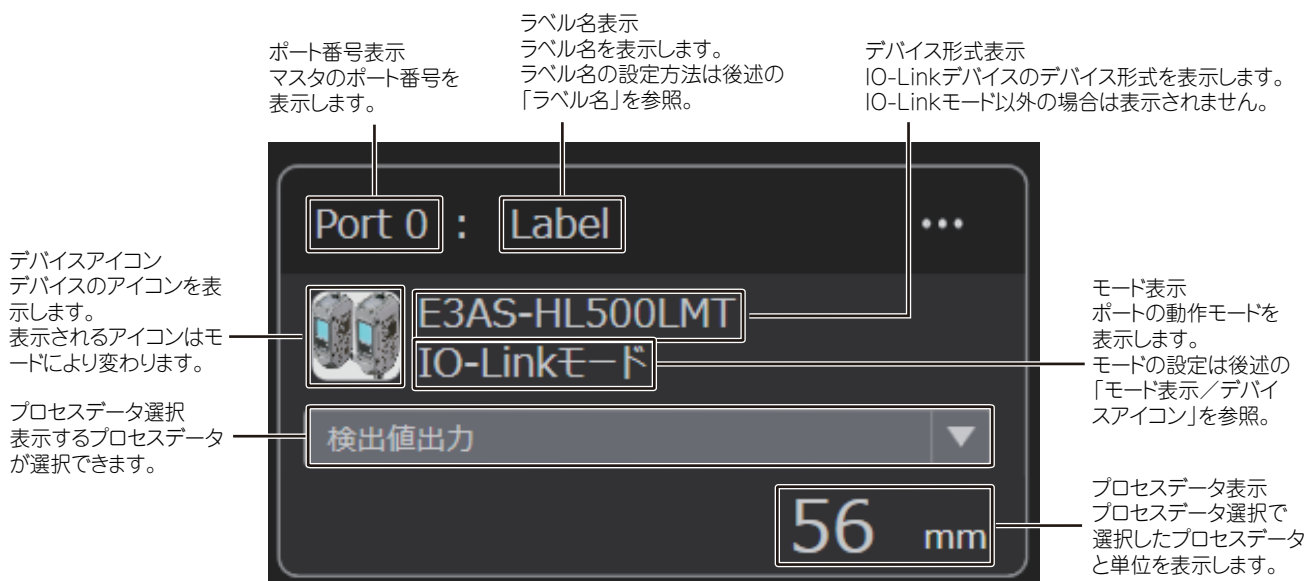
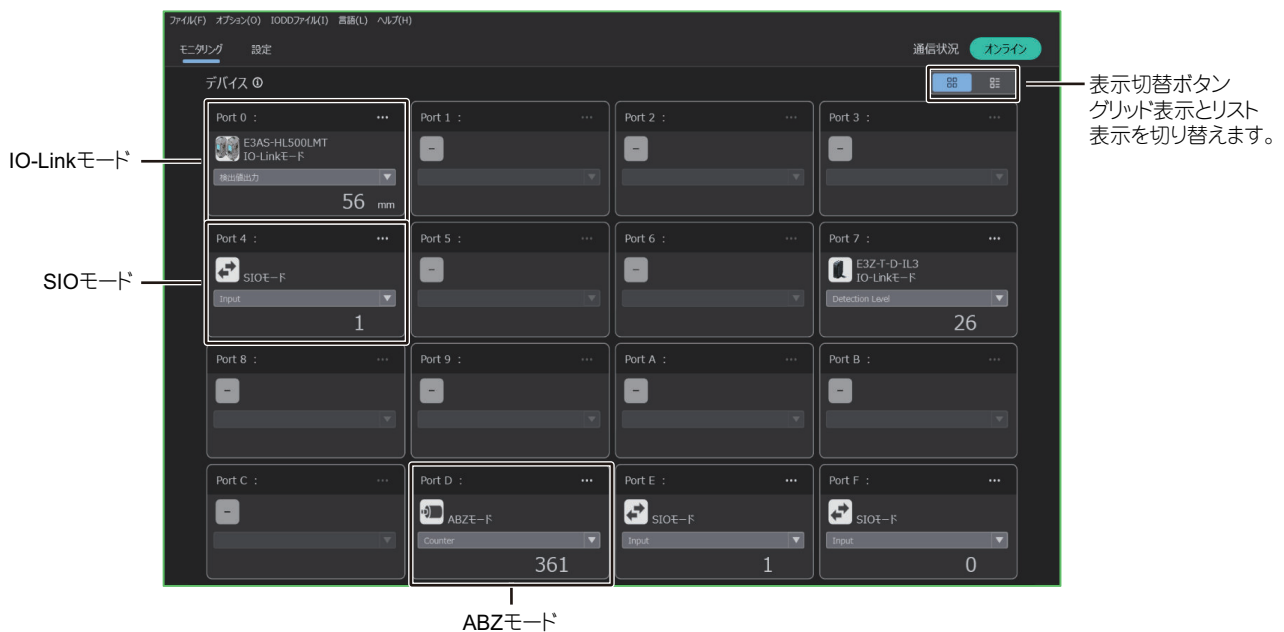
2-1	グリッド表示	2-2
2-1-1	グリッド表示画面	2-2
2-1-2	モード表示／デバイスアイコン	2-3
2-1-3	ラベル名	2-3
2-2	リスト表示	2-5
2-3	詳細表示	2-6
2-4	ツールバー	2-8
2-4-1	アドレスコメント表を CSV で出力する	2-9
2-4-2	すべての設定を CSV で出力する	2-11

2-1 グリッド表示

2-1-1 グリッド表示画面

- 16ポートのプロセスデータを一覧で見ることが可能です。
- 1台あたり表示可能なプロセスデータは1つです。
- 表示するプロセスデータは選択可能です。
- 初期状態ではインデックスリスト先頭のプロセスデータが表示されます。
- この表示画面から各ポートのエラー・ワーニング状態も確認できます。詳細は「4-1 エラー表示 (P.4-2)」を参照してください。

エラー・ワーニングが発生している場合、プロセスデータは表示されません。



2-1-2 モード表示／デバイスアイコン

- ・ マスタユニットの「M10. IO 機能設定」および「M18. パルス入力」により各ポートのモードが決定されます。
- ・ モードによりモード表示およびデバイスアイコンが表示されます。
- ・ 設定画面のポート設定から各ポートの設定を変更できます。



参考

設定の詳細は、「関連マニュアル (P.13)」記載のマスタのマニュアルを参照してください。

M10. IO 機能設定	M18. パルス入力	モード表示	デバイスアイコン
IO-Link		IO-Link モード	デバイス画像
nnp 入力	なし	SIO モード	
	単相	SINGLE モード	
	高応答	HIFREQ モード	
	周波数	FREQ モード	
	AB	AB モード	
	ABZ	ABZ モード	
pnp 入力	なし	SIO モード	
	単相	SINGLE モード	
	高応答	HIFREQ モード	
	周波数	FREQ モード	
	AB	AB モード	
	ABZ	ABZ モード	
NPN 出力		表示なし	
PNP 出力			
未使用			

2-1-3 ラベル名

各ポートに任意の名称をユーザが設定できる機能です。

- ・ ラベル名はデバイスではなくポートに紐づくものです（デバイスを別のポートに差し替えてもラベル名は移動しません）。
- ・ ラベルとして入力できるのは 24 文字までです。

ラベル名の編集方法は以下の 2 つです。

- ラベル一括編集画面
- 設定画面

- ラベル一括編集画面から編集する場合

モニタリング画面のグリッド表示、リスト表示、詳細表示の各画面内の  をクリックし表示されるメニューで、「ラベル一括編集」を選択することで表示できます。

Port ラベル一覧

Port 番号	デバイス	ラベル名
0		example 1
1		label1
2		
3	—	ラベル1
4	—	
5	—	
6	—	
7	—	
8	—	

反映 閉じる



参考

テキストファイルで記載したラベル名は、キーボード操作の Ctrl+V でラベル一覧にペーストできます。

b. 設定画面から編集する場合

設定画面: デバイス設定「詳細」画面

各デバイスの詳細設定画面から編集可能です。

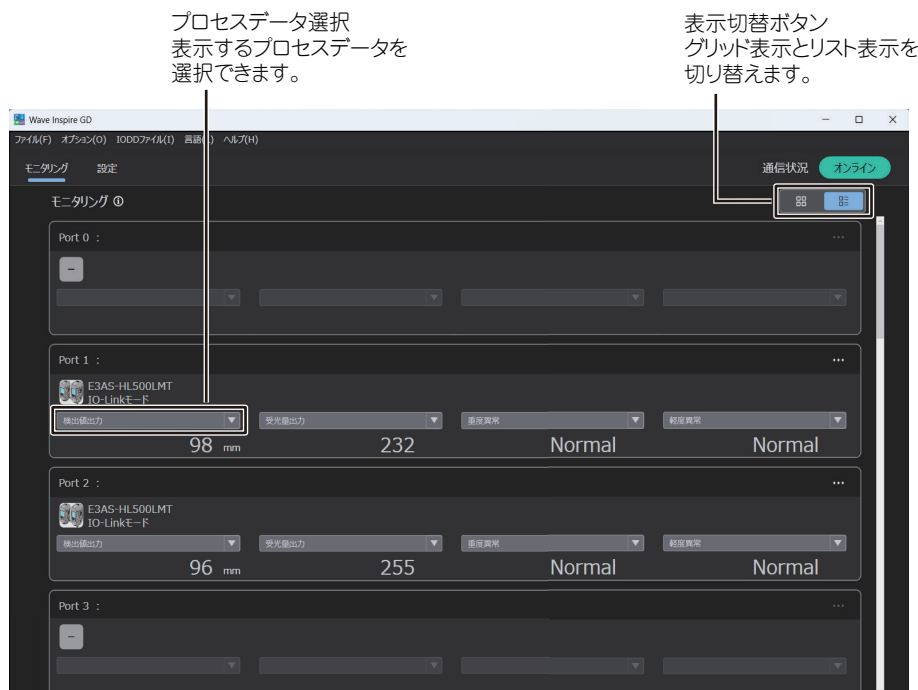
詳細設定 ⓘ > Port 0

ラベル 	ベンダー名 / IO-Linkデバイス形式 OMRON Corporation / E3AS-HL500LMT	形式を選択
-----------------------------	--	-------

2-2 リスト表示

● リスト表示画面

- デバイス 1 台あたり、4 つまでのプロセスデータを同時に見ることが可能です。
- スクロールすることで 16 台のデバイスのプロセスデータを閲覧できます。
- 表示内容はグリッド表示と同様です。



スクロールすることで、16台すべてのデバイスのプロセスデータを閲覧できます。

2-3 詳細表示

1つのポートをクリックすると、詳細画面ですべてのプロセスデータを確認できます。
デバイスアイコンが  となっているポートは詳細表示できません。



ポート番号表示
マスタのポート番号を表示します。

ラベル名表示
ラベル名を表示します。
ラベル名の設定方法は、前述の「ラベル名」を参照。

デバイスアイコン
デバイスのアイコン
を表示します
表示されるアイコン
はモードにより変わ
ります。(前述の「モ
ード表示／デバイス
アイコン」を参照)

モード表示
ポートの動作モ
ードを表示します。
(前述の「モード
表示／デバイスア
イコン」を参照)

デバイス形式表示
IO-Linkデバイ
スのデバイス形式を
表示します。
IO-Linkモード以外
の場合は表示され
ません。

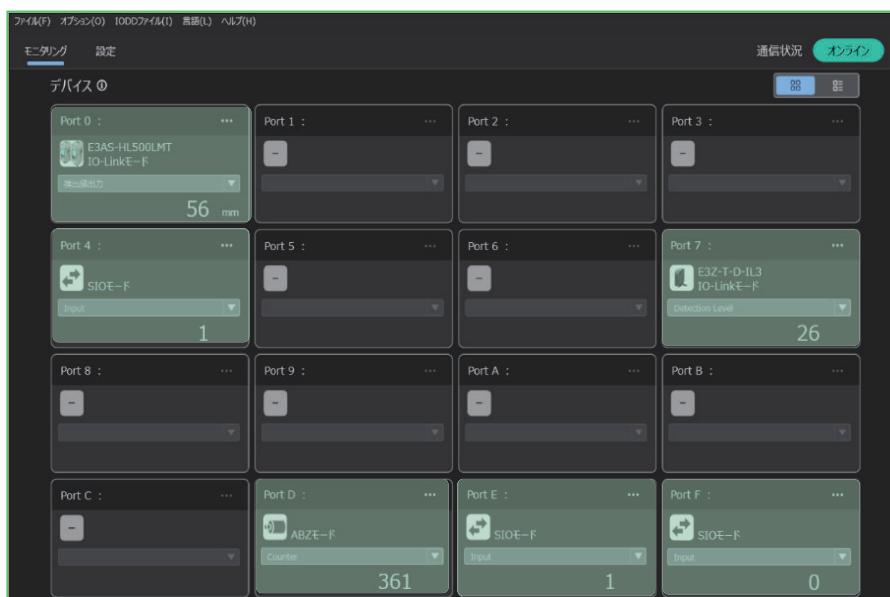
プロセスデータ
一覧表示
プロセスデータの一
覧を表示します。
データ数が多い場
合はスクロールす
ると、すべてのデー
タが表示できます。

プロセスデータ	値 / 状態	単位
Detection Level	: 24	
Error	: OFF	
Warning	: OFF	
Instability Alarm (Light Receiv...	: Stable	
Instability Alarm (Non-Light R...	: Stable	
Control Output 2	: ON	
Control Output 1	: ON	

詳細画面は以下から表示できます。

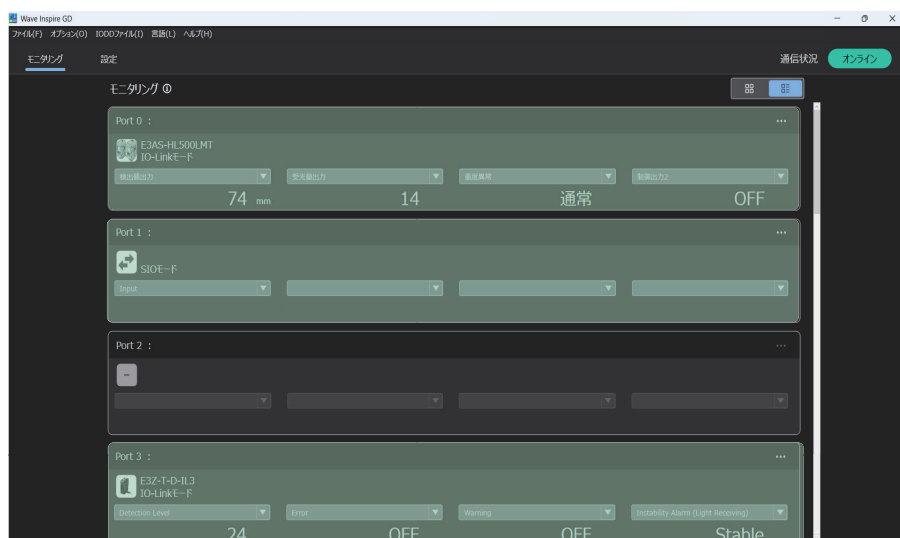
a. グリッド画面から表示

各ポートの枠内をクリックすると、詳細画面が表示されます。



b. リスト画面から表示

各ポートの枠内をクリックすると、詳細画面が表示されます。

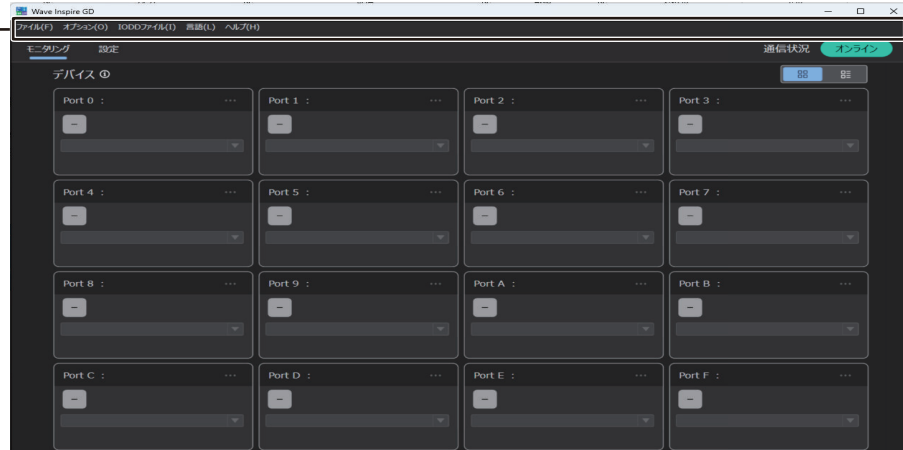


- c. [編集] ボタンから表示
グリッド表示およびリスト表示の [...] をクリックし表示されるメニューで、「編集」を選択することで詳細画面が表示されます。

2-4 ツールバー

ツールバーで実行できる機能を説明します。詳細は下表を確認してください。

ツールバー
ツール全体の設定や機能



ツールバー機能一覧

大項目	小項目	機能
ファイル(F)	プロジェクトファイルを上書き保存(S)	プロジェクトファイルに設定値を上書き保存します。
	プロジェクトファイルを別名で保存(A)	新規のプロジェクトファイルを作成し設定値を保存します。
	アドレスコメント表を CSV で出力(P)	PLC への送信データのアドレスと内容のコメント一覧を CSV 形式で出力します。
	すべての設定を CSV で出力(L)	IO-Link マスタユニット、IO-Link デバイスのすべての設定値を CSV 形式で出力します。
	終了(Q)	本ツールを終了します。
オプション(O)	スクリーンショット(C)	画面のスクリーンショットを保存します。
	すべての設定を実機に転送(E)	プロジェクトファイルのすべての設定を実機に転送します。
	すべての設定を実機から読み出し(I)	すべての設定を実機から読み出します。
IODD ファイル (I)	IODD ファイル設定(I)	IODD ファイルの追加、削除が行えます。詳細は「3-9 IODD ファイル設定 (P.3-21)」を参照してください。
言語(L)	日本語(J)	表示言語を日本語にします。
	English(E)	表示言語を英語にします。
ヘルプ(H)	オペレーションマニュアル(O)	本ツールのオペレーションマニュアルを表示します。(本書)
	IO-Link マスタユニットマニュアル(I)	IO-Link マスタユニット (GD シリーズ) のマニュアルを表示します。
	バージョン(V)	本ツールのバージョンとライセンス情報を表示します。



使用上の注意

オンラインで使用時、以下の機能を実行する場合は、事前に初回設定を完了してください。初回設定の手順については「3-2 初回画面 (P.3-3)」を参照してください。

- ・ アドレスコメント表の CSV 出力
- ・ すべての設定の CSV 出力

設定値を読み込んでいない状態で CSV 出力を行うと、出力内容に情報不足が生じます。

2-4-1 アドレスコメント表を CSV で出力する

- PLC などとの上位通信でのアドレス名称に対するコメントを CSV 形式で出力できます。
- オンライン／オフラインともに使用可能です。



使用上の注意

プロジェクトファイルに保存されている設定内容が出力されます。画面での表示と出力内容が一致しない場合は、プロジェクトを保存したあとに本機能を使用してください。

使用手順

- 1 ツールバーの [ファイル(F)] - [アドレスコメント表を CSV で出力(P)] をクリックします。
- 2 [ファイル選択] ダイアログボックスで任意の名前を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

出力フォーマット

全体はヘッダ情報、ビットアドレス情報、Word アドレス情報により構成されます。
各部の詳細を以下で説明します。

- ヘッダ情報: 上位ネットワーク設定、各ポート設定などの基本情報を出力します。

プロジェクト名

マスタ情報

ポート情報

ProjectName	New Project										
IO-Link Master	GD-ILM16E-MLP										
IP Address	192.168.3.1										
Network Type	CC-Link IE Field Basic										
PortNo.	Device Type	IOFunc	Endian	VendorName	DeviceName	Label	PDInSize[byte]	PDOutSize[byte]	PdInputWordCount[word]	PdOutputWordCount[word]	
Port0	IO_Link_Device	IO_Link_Device	Little endian	OMRON Corporation	E3AS-F1000IMT		4	0	2	2	
Port1											
Port2											
Port3											
Port4											
Port5											
Port6											
Port7											
Port8											
Port9											
PortA											
PortB											
PortC											
PortD											
PortE											
PortF											
PDIn DataSizeSum[byte]	12										
PDOut DataSizeSum[byte]	12										

プロセスデータ情報

ポート情報の各列の詳細説明を以下に示します。

項目	説明	備考
ポート No.	ポート番号を出力します。	
DeviceType	ポートのモードを出力します。(参考: 「2-1-2 モード表示／デバイスアイコン (P.2-3)」)	
IOFunc	各ポートの「M10. I/O 機能設定」の設定内容を出力します。	
Endian	各ポートの「M43. プロセスデータ並び」の設定内容を出力します。	(注) 「M2. マスタ通信設定」が「Ethernet & Modbus/TCP」の場合を除きます。
VenderName	IO-Link デバイスのベンダー名を出力します。	

項目	説明	備考
DeviceName	IO-Link デバイスのデバイス名を出力します。	
Label	ラベルを出力します。(参考: 「2-1-3 ラベル名 (P.2-3)」)	
PDInSize	IODD ファイルで定義されている入力データサイズを出力します。	
PDOOutSize	IODD ファイルで定義されている出力データサイズを出力します。	
PDInputWordCount	各ポートの「M40. プロセス入力データ割付ワード数」で設定されているデータサイズを出力します。	(注) 「M2. マスタ通信設定」が「Ethernet & Modbus/TCP」の場合を除きます。
PDOOutputWordCount	各ポートの「M41. プロセス出力データ割付ワード数」で設定されているデータサイズを出力します。	(注) 「M2. マスタ通信設定」が「Ethernet & Modbus/TCP」の場合を除きます。

- ビットアドレス情報: ビット単位でのコメントを出力します。
(注) 出力内容は PDInputWordCount および PDOOutputWordCount のデータサイズに基づいて出力されます。

Input/Output データ		バイトアドレス位置		ビットアドレス位置		データ型		ビットオフセット	
Bit format/list view	ByteAddr	BitAddr	Comment	Type	BitOffset	BitLength			
In	0	0	Header_DigitalInput_Port0	Boolean		1			
In	0	1	Header_DigitalInput_Port1	Boolean		1			
In	0	2	Header_DigitalInput_Port2	Boolean		1			
In	0	3	Header_DigitalInput_Port3	Boolean		1			
In	0	4	Header_DigitalInput_Port4	Boolean		1			
In	0	5	Header_DigitalInput_Port5	Boolean		1			
In	0	6	Header_DigitalInput_Port6	Boolean		1			
In	0	7	Header_DigitalInput_Port7	Boolean		1			
In	1	0	Header_DigitalInput_Port8	Boolean		1			
In	1	1	Header_DigitalInput_Port9	Boolean		1			
In	1	2	Header_DigitalInput_PortA	Boolean		1			

コメント

ビット長

マスタ情報のコメントは固定で表示されます。
(Header_コメント)
プロセスデータごとのコメントはポート番号と
IODD 記述内容が出力されます。(Port□_コメント)

・
・
・

In	4	0	Port0_Output1	BooleanT	0	1
In	4	1	Port0_Output2	BooleanT	1	1
In	4	2	Reserve		0	0
In	4	3	Port0_Detection instability alarm	BooleanT	3	1
In	4	4	Port0_Insufficient incident light level error	BooleanT	4	1
In	4	5	Port0_Distance error	BooleanT	5	1
In	4	6	Port0_Warning	BooleanT	6	1
In	4	7	Port0_Error	BooleanT	7	1
In	5	0	Port0_Monitor output 2 (Incident light level)	UIntegerT	8	8
In	5	1	Port0_Monitor output 2 (Incident light level)	UIntegerT	8	8
In	5	2	Port0_Monitor output 2 (Incident light level)	UIntegerT	8	8
In	5	3	Port0_Monitor output 2 (Incident light level)	UIntegerT	8	8
In	5	4	Port0_Monitor output 2 (Incident light level)	UIntegerT	8	8
In	5	5	Port0_Monitor output 2 (Incident light level)	UIntegerT	8	8
In	5	6	Port0_Monitor output 2 (Incident light level)	UIntegerT	8	8
In	5	7	Port0_Monitor output 2 (Incident light level)	UIntegerT	8	8

- ワードアドレス情報: Word 単位でのコメントを出力します。
(注) 先頭ビットのコメント内容が出力されます。

Input/Output データ	ワードアドレス	コメント	ワードオフセット	ビット長
Word format list view	WordAddr	Comment	WordOffset	BitLength
In/Out		0 Header_DigitalInput		
In		1 Header_Flag_EventInformation		
In		2 Port0_Output1	0	1
In		3 Port0_Monitor output 1 (Detection level)	1	16
In		4 Reserve	0	0
In		5 Reserve	0	0
Out		0 Header_DigitalOutput		
Out		1 Header_EventControl		
Out		2 Reserve	0	0
Out		3 Reserve	0	0
Out		4 Reserve	0	0
Out		5 Reserve	0	0

2-4-2 すべての設定を CSV で出力する

すべての設定内容（基本設定、ポート設定、詳細設定）を CSV ファイルに出力できます。
設定内容については、「第 3 章 設定画面 (P.3-1)」を参照してください。

使用手順

- 1 ツールバーの [ファイル(F)] - [すべての設定を CSV で出力(L)] をクリックします。
- 2 [ファイル選択] ダイアログボックスで任意の名前を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

出力フォーマット

- ・設定値は基本設定、ポート設定、詳細設定の順で出力されます。
- ・ポート設定、詳細設定は、ポート 0 からポート F まで順に出力されます。

● 基本設定出力フォーマット

マスタ情報		
マスタ設定値		
マスタ型式	GD-ILM16E-MLP	
シリアル番号		
設定内容		
M1	マスター設定値初期化	なし
M2	ネットワーク種類	EtherNet/IP
M4	ディスプレイ輝度	7
M5	言語選択	英語
M6	時差	0 h
M8	本体タグ名称	*
M9	I/O 割付一括変更	なし
M42	プロセスデータ自動割付実行	OFF

⋮ 以下に設定項目一覧が続く
⋮

● ポート設定値出力フォーマット

ポート設定値 0			ポート番号
M10	I/O割付設定	IO-Linkモード	設定内容
M11	入力フィルタ時間	なし	
M12	入力保持時間	なし	
M13	IO-Link通信/ネットワークエラー時出力	クリア	
M16	プロセス入力データビット位置	0	
M17	転送元入力チャンネル	0	
M18	パルス入力	なし	
M19	入力反転	なし	
M21	I/O同期動作	0	
M22	最低周波数	27.2Hz	

・
・ 以下に設定項目一覧が続く
・

● 詳細設定出力フォーマット

デバイス設定値		0	ポート番号	ラベル
Label	label_example			
Device Access Locks-Parameter Write Access	Locked		設定内容	
Device Access Locks-Data Storage	Locked			
Vendor Name	OMRON Corporation			
Vendor Text	OMRON Corporation			
Product Name	E3AS-F1000IMT			
Product ID	E3AS-F1000IMT-M1TJ 0.3M			
Product Text	TOF Laser sensor			

・
・ 以下に設定項目一覧が続く
・

設定画面

この章では設定画面の機能について説明しています。

3-1	基本機能	3-2
3-2	初回画面	3-3
3-3	画面構成	3-5
3-4	基本設定	3-7
3-4-1	設定値を転送する	3-7
3-4-2	設定値を読み出す	3-7
3-4-3	機器設定値を更新する	3-8
3-4-4	基本設定一覧	3-9
3-5	ポートの設定	3-10
3-5-1	設定値を転送する	3-10
3-5-2	設定値を読み出す	3-11
3-5-3	機器設定値を更新する	3-11
3-5-4	ポート設定一覧	3-11
3-6	詳細設定画面	3-13
3-6-1	IO-Link デバイスの設定値を転送する	3-13
3-6-2	IO-Link デバイスの設定値を読み出す	3-14
3-6-3	IO-Link デバイスの設定値を更新する	3-14
3-7	設定の複製	3-15
3-8	エクスポート・インポート	3-18
3-8-1	エクスポート・インポート機能	3-18
3-8-2	エクスポート・インポート対象	3-18
3-8-3	エクスポート	3-19
3-8-4	インポート	3-19
3-9	IODD ファイル設定	3-21
3-9-1	本ツールに追加されている IODD ファイルを確認する	3-21
3-9-2	IODD ファイルを追加する	3-22
3-9-3	IODD ファイルを削除する	3-25
3-10	オフライン時の使用例	3-26

3-1 基本機能

設定画面で行えることは以下です。

- 実機側の設定値を確認（更新ボタン）
 - 設定を実機からプロジェクトファイルに読み出し（読み出すボタン）
 - プロジェクトファイル設定値を実機に転送（転送するボタン）
 - プロジェクトファイルに保存されている設定値と実機側の設定値の比較（差分アイコンの表示）
- （注）オフラインモードでは、実機の設定値確認や実機への設定値転送はできません。

a. マスタ設定

- 基本設定: IO-Link マスタユニットの基本設定を行います。
- ポート設定: IO-Link マスタユニットの各ポートの設定をポートごとに行います。

b. デバイス設定

- 詳細設定: IO-Link デバイスの設定をデバイスごとに行います。



使用上の注意

デバイス設定は IO-Link デバイスのときのみ設定可能です。
IO-Link デバイスに対応する IODD ファイルが本ツールに追加されていない場合は表示されません。

3-2 初回画面

オンラインで初めて設定画面を開くと、全ポートの設定値を取得する画面が表示されます。



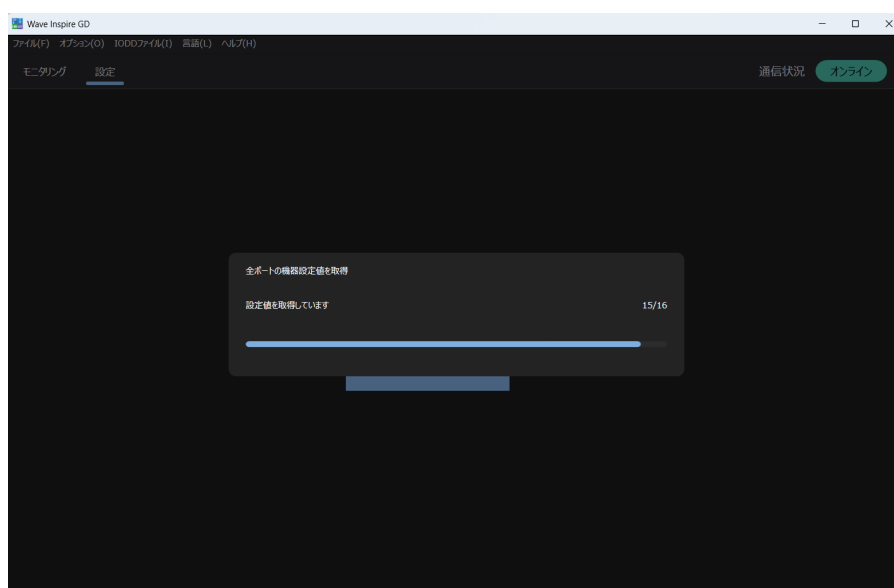
使用上の注意

オフライン時には表示されません。

- 1 「設定」 タブをクリックします。
- 2 「全ポートの機器設定値を取得」 ボタンをクリックします。



以下の画面が表示されたあと、基本設定画面が表示されます。





使用上の注意

接続デバイス数やデバイスの設定項目数によって数分程度時間がかかる場合があります。

3-3 画面構成

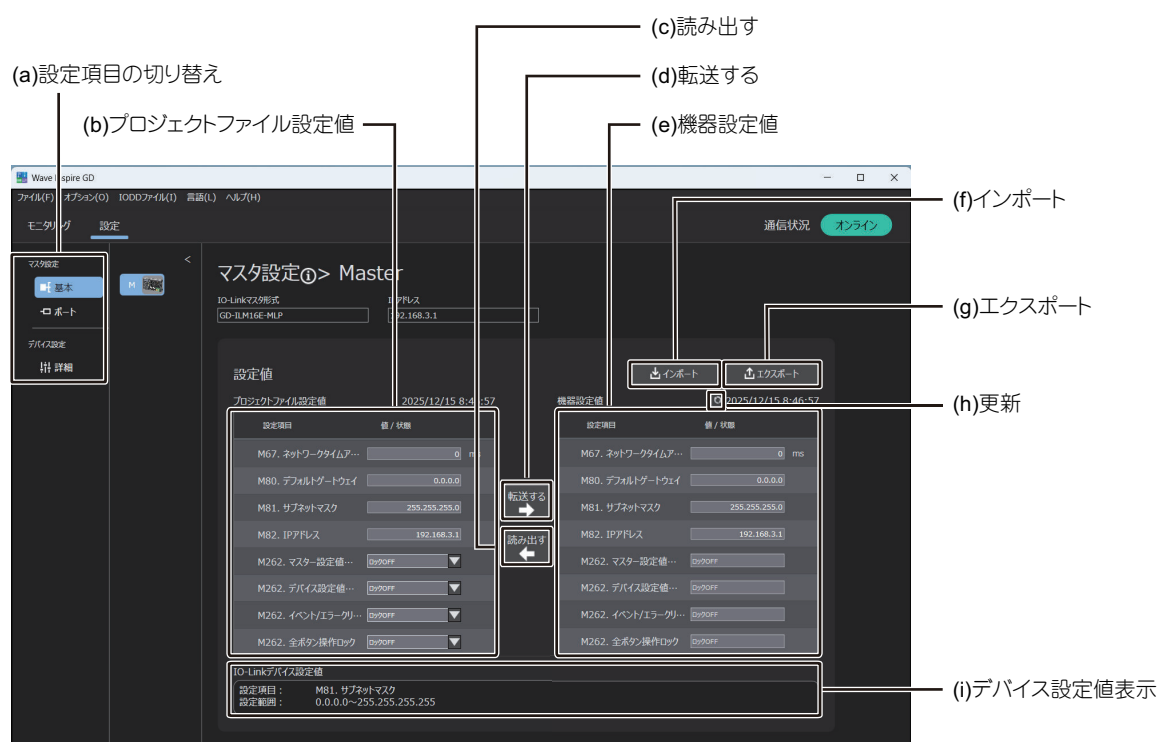
設定画面では「基本設定」、「ポート設定」、「詳細設定」の3種類の設定を行うことができます。本節では、すべての設定画面で共通する部分を説明します。



使用上の注意

以下の機能はオフラインでは使用できません。

- ・ 機器設定値
- ・ 読み出す
- ・ 転送する
- ・ 更新



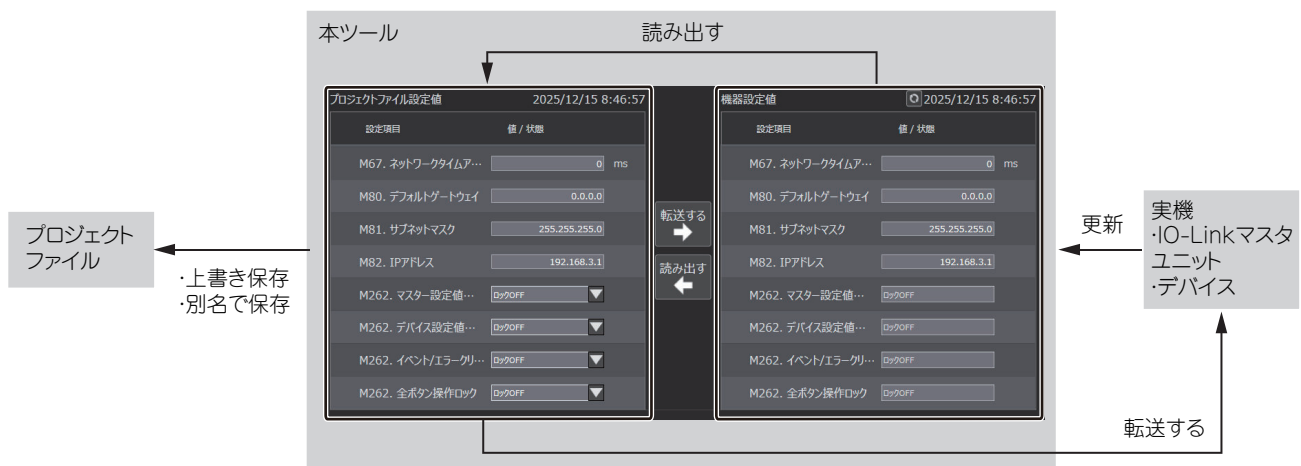
項目	説明
(a) 設定項目の切り替え	基本設定／ポート設定／詳細設定を切り替えます。
(b) プロジェクトファイル設定値	プロジェクトファイルに設定されている設定値を表示します。また、設定値を変更したい場合、ユーザが編集できます。
(c) 読み出す	機器設定値に表示されている設定値をプロジェクトファイル設定値に反映します。 (注) オフラインでは使用できません。
(d) 転送する	プロジェクトファイルに設定されている設定値を機器に転送します。 (注) オフラインでは使用できません。
(e) 機器設定値	実機から読み出した設定値およびベンダコマンド、システムコマンドを送信するボタンが表示されます。 (注) 1. マスタやデバイスを直接操作した場合、リアルタイムでは画面に反映されません。 [更新] ボタンをクリックし、更新してください。 (注) 2. オフラインでは使用できません。 (注) 3. ユーザによる編集はできません。
(f) インポート	エクスポートファイルを読み込み、プロジェクトファイル設定値に反映します。

	項目	説明
(g)	エクスポート	デバイス単位でプロジェクトファイル設定値を xml 形式でファイルに出力します。
(h)	更新	実機から設定値を読み出し、機器設定値に反映します。 (注) オフラインでは使用できません。
(i)	デバイス設定値表示	選択している設定項目の設定項目名、設定範囲を表示します。

● 設定管理の構造（読み出し、転送、更新、保存）

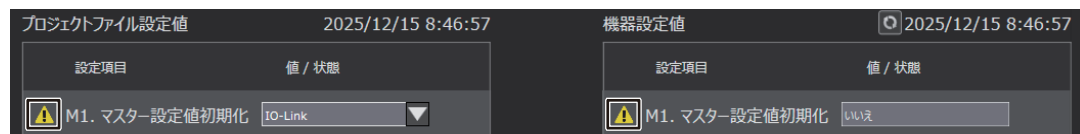
「転送する」、「読み出す」、「更新」を実行した際の設定値の反映箇所を説明します。

- ・「転送する」を実行時、転送後に更新と読み出し処理が自動で行われます。
- ・プロジェクトファイル設置値を画面上で編集してもプロジェクトファイルに反映されません。プロジェクトファイルに保存する場合は、ツールバーの「ファイル」から「上書き保存」または「別名で保存」を実行してください。



● 設定差分アイコン

プロジェクトファイル設定値と機器設定値の設定値に差がある場合、設定差分アイコン（）が表示されます。



- ・オフラインで使用している場合、設定差分アイコンは表示されません。
- ・プロジェクトファイル設定値と機器設定値の設定値の差が解消した場合、設定差分アイコンの表示は消えます。

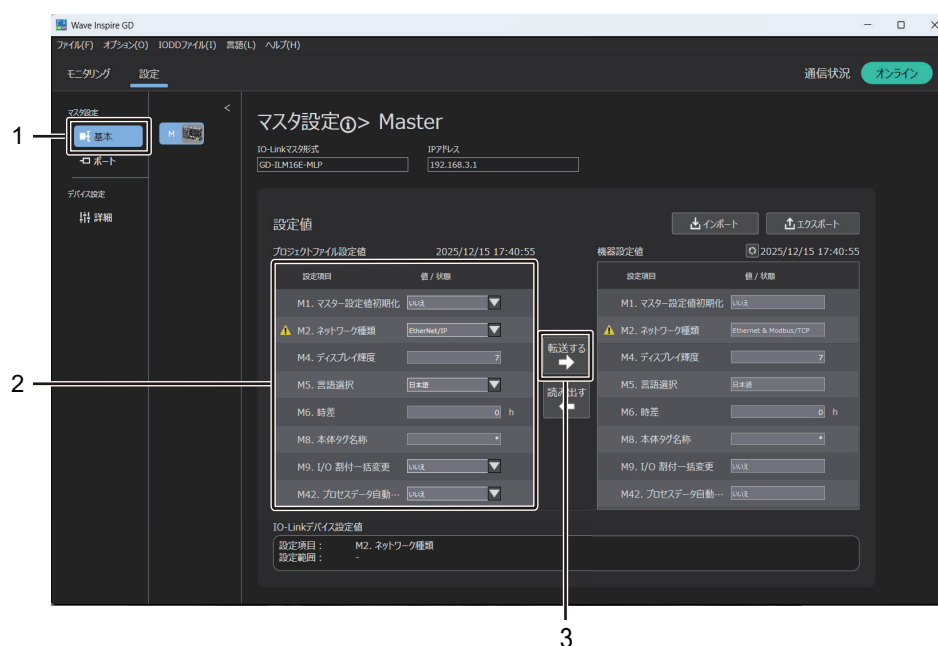
3-4 基本設定

IO-Link マスタユニットの基本設定を行います。

- ・ 設定できる値が一覧で表示され、スクロールして確認することができます。
- ・ 設定できる項目は「3-4-4 基本設定一覧 (P.3-9)」で説明します。

3-4-1 設定値を転送する

プロジェクトファイル設定値に表示されているマスタ設定を転送します。



- 1 [基本] をクリックします。
- 2 転送する設定値をプロジェクトファイル設定値に入力または選択します。
複数の項目を変更できます。
- 3 [転送する] ボタンをクリックします。
[確認] ダイアログボックスが表示されます。
- 4 [はい] ボタンをクリックします。
[いいえ] ボタンをクリックすると、転送を取り消すことができます。

3-4-2 設定値を読み出す

機器設定値に表示されている内容を、プロジェクトファイル設定値に反映します。

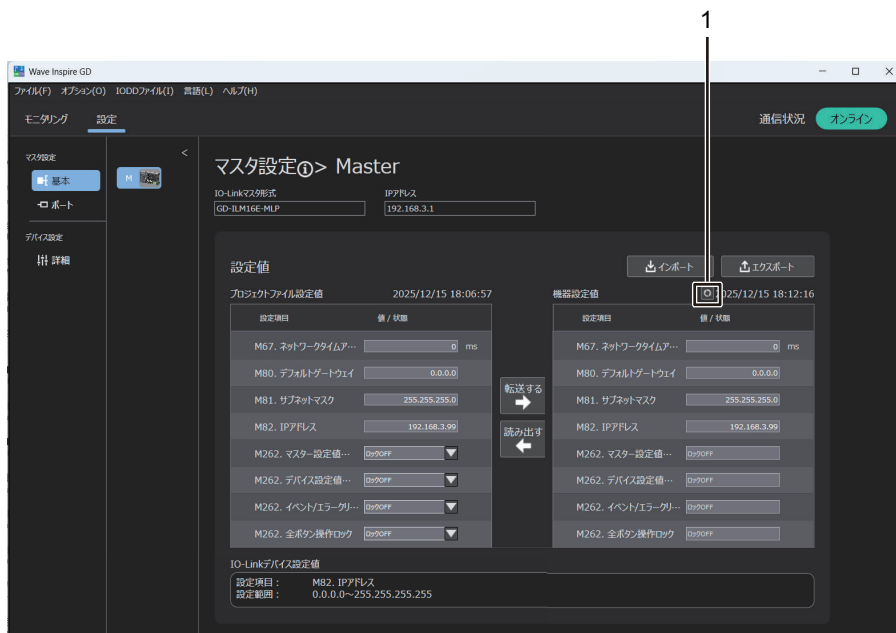


使用上の注意

実機操作（デバイスのボタンで操作など）により、実機の設定値が変わっている場合、機器設定値の表示にはリアルタイムに反映されません。[更新] ボタンをクリックすると反映されます。

3-4-3 機器設定値を更新する

マスタに設定されている設定値を読み出し、機器設定値に反映します。



- 1 [更新] ボタンをクリックします。
[確認] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [はい] ボタンをクリックします。
[いいえ] ボタンをクリックすると、更新を取り消すことができます。

3-4-4 基本設定一覧

マスタの形式ごとの基本設定画面の設定項目は下記です。
下記設定値に関する詳細はマスタのマニュアルを参照してください。

○: 設定可

	形 GD- ILM□□ □-CLI	形 GD- ILM□□ □-MLP	備考
M1. マスタ設定値初期化	○	○	設定反映に数十秒程度時間がかかります。
M2. ネットワーク種類	○ ^{*1}	○	設定反映に数十秒程度時間がかかります。
M4. ディスプレイ輝度	○	○	入力値に応じて、本機の設定は以下のよう に变化します。 1→5% 7→35% 20→100%
M5. 言語選択	○	○	
M6. 時差	○	○	
M8. 本体タグ名称	○	○	最大入力文字数: 32 文字 ASCII 標準文字のみ入力可能です。
M9. I/O 割付一括変更	○	○	
M42. プロセスタタ自動割付実行	○	○	
M44. 時刻情報割付	○	○	
M60. バージョン番号			
M61. 稼働時間			
M62. ディスプレイ駆動時間			
M63. I/O 電源電圧			
M64. 内部温度			
M65. ネットワーク時刻			
M66. ネットワーク通信周期			
M67. ネットワークタイムアウト時間		○	Ethernet & Modbus/TCP 時のみ設定 可
M80. デフォルトゲートウェイ		○	
M81. サブネットマスク		○	
M82. IP アドレス		○	IP アドレスの本体設定への反映にはマ スタ本体の再起動が必要です。
M83. IE TSN Class 設定	○		
M262. マスタ設定値書き込みロック	○	○	
M262. デバイス設定値書き込みロック	○	○	
M262. イベント/エラークリア操作ロック	○	○	
M262. 全ボタン操作ロック	○	○	

*1. CC-Link IE Field TSN から CC-Link IE Field に変更すると、マスタとパソコンツール間との接続は切断さ
れます。

3-5 ポートの設定

マスタの、各ポートの設定をします。
ポート設定では、各ポートの設定項目の値の照合や、設定の転送と読み出しが行えます。



参考

「転送する」、「読み出す」、「更新」の動作は「3-4 基本設定 (P.3-7)」と同様です（設定項目が基本設定と異なります）。

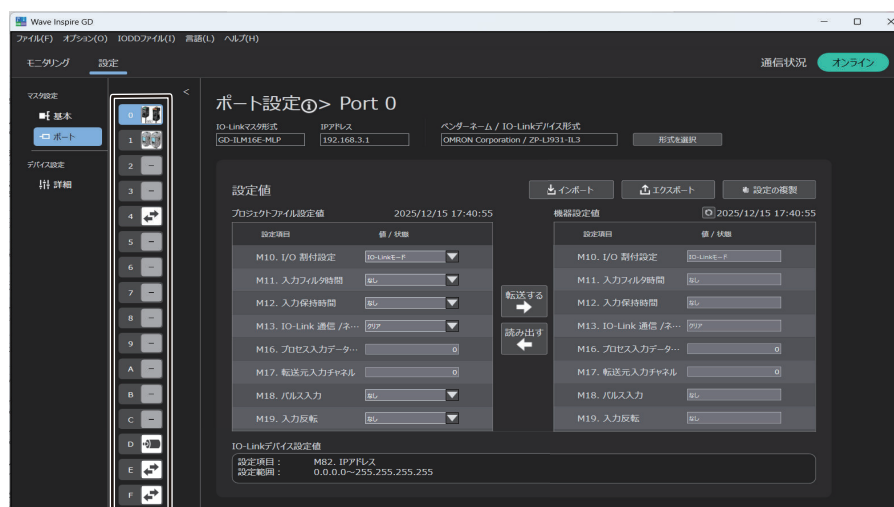
3-5-1 設定値を転送する

プロジェクトファイル設定値に表示されているマスタ設定を転送します。

1 マスタ設定の「ポート」をクリックします。



2 設定を変更するポートを選択します。



設定するポート(デバイス)を選択します。

- 3 転送する設定値をプロジェクトファイル設定値に入力または選択します。
複数の項目を変更できます。
- 4 [転送する] ボタンをクリックします。
[確認] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 [はい] ボタンをクリックすると、設定をマスタに転送します。

3-5-2 設定値を読み出す

機器設定値に表示されている内容をプロジェクトファイル設定値に反映します。



使用上の注意

実機操作（デバイスのボタンで操作など）により、実機の設定値が変わっている場合、機器設定値の表示にはリアルタイムに反映されません。[更新] ボタンをクリックすると反映されます。

3-5-3 機器設定値を更新する

マスタに設定されている設定値を読み出し、機器設定値に反映します。

- 1 [更新] ボタンをクリックします。
[確認] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [はい] ボタンをクリックします。
[いいえ] ボタンをクリックすると、更新を取り消すことができます。

3-5-4 ポート設定一覧

マスタの形式ごとのポート設定画面の設定項目は下記です。
下記設定値に関する詳細はマスタのマニュアルを参照してください。

	備考
M10. I/O 機能設定	
M11. 入力フィルタ時間	
M12. 入力保持時間	
M13. IO-Link 通信／ネットワークエラー時入出力	
M16. プロセス入力データビット位置	0～254 と 255 で設定の意味が異なります。255 は「有効判定」を意味します。
M17. 転送元入力チャネル	
M18. パルス入力	
M19. 入力反転	
M21. I/O 同期動作	0～1003 の数値が設定できます。数値の設定についてはマスタのマニュアルを参照してください。
M22. 最低周波数	
M29. デバイス ID	16 進数の入力値です。 0～9 および A～F が入力できます。
M30. デバイス照合	
M31. 設定値の自動ストレージ	
M32. 設定値のバックアップ／リストア	
M33. IODD インストールデータ優先	

	備考
M40. プロセス入力データ割付ワード数	
M41. プロセス出力データ割付ワード数	
M43. プロセスデータ並び	
M51. 実際のサイクルタイム	
M52. 通信速度	
M53. IO-Link 通信エラー回数	
M54. ISDU チェックサムエラー回数	
M55. IO-Link デバイス通信速度誤差	
M56. IO-Link デバイス通信信号幅誤差	
M57. 通信モード	
M58. ストレージバックアップ時刻	

3-6 詳細設定画面

マスタユニットに接続された IO-Link デバイスの設定を管理します。
IODD ファイルで定義されている設定の照合や、設定の転送または読み出しが行えます。



使用上の注意

- IO-Link デバイス以外のポートでは、設定値一覧は表示できません。
- 各デバイスの設定項目はデバイスのユーザーズマニュアルなどを確認してください。

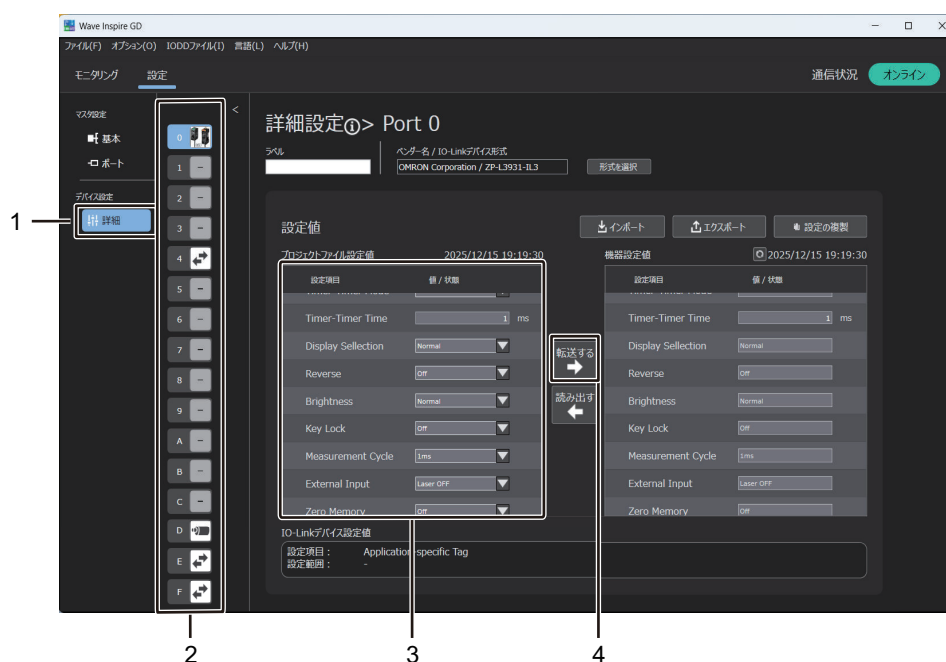


参考

「転送する」、「読み出す」、「更新」の動作は「3-4 基本設定 (P.3-7)」と同様です（設定項目が基本設定と異なります）。

3-6-1 IO-Link デバイスの設定値を転送する

プロジェクトファイル設定値に表示されているデバイス設定を転送します。



- 1 基本設定の「詳細」をクリックします。
- 2 設定を変更するポートを選択します。
- 3 転送する設定値をプロジェクトファイル設定値に入力または選択します。
複数の項目を変更できます。
- 4 「転送する」ボタンをクリックします。
[確認] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「はい」ボタンをクリックすると、設定をマスタに転送します。

3-6-2 IO-Link デバイスの設定値を読み出す

機器設定値に表示されている内容をプロジェクトファイル設定値に反映します。



使用上の注意

実機操作（デバイスのボタンで操作など）により、実機の設定値が変わっている場合、機器設定値の表示にはリアルタイムに反映されません。[更新] ボタンをクリックすると反映されます。

3-6-3 IO-Link デバイスの設定値を更新する

デバイスに設定されている設定値を読み出し、機器設定値に反映します。

- 1** **[更新]** ボタンをクリックします。
[確認] ダイアログボックスが表示されます。
- 2** **[はい]** ボタンをクリックします。
[いいえ] ボタンをクリックすると、更新を取り消すことができます。

3-7 設定の複製

ポート設定と詳細設定では、プロジェクト内で他のポートに複製することができます。
複製の対象は以下の3つが選択できます。

- ポート設定のみ
- 詳細設定のみ
- ポート設定と詳細設定

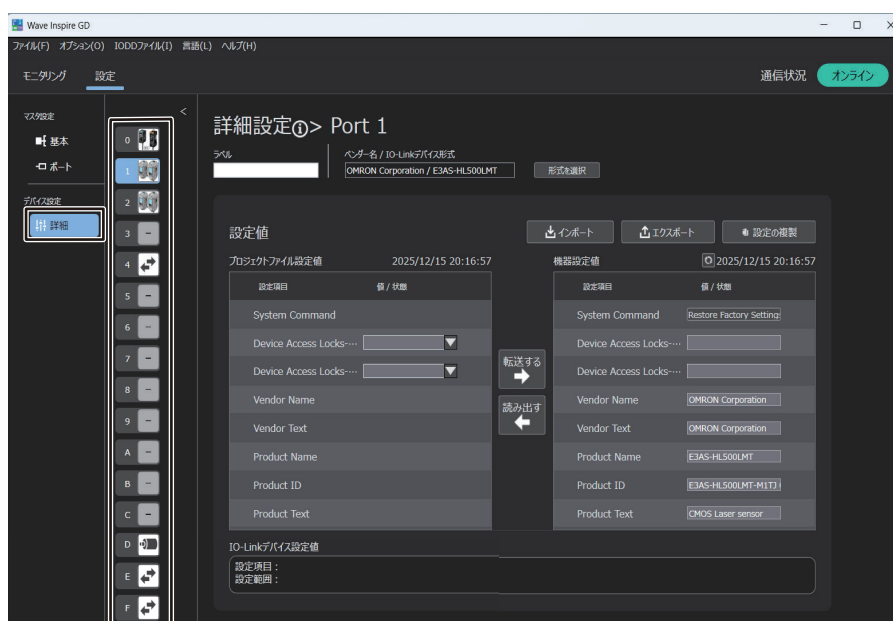
複製の対象として「詳細設定のみ」または「ポート設定と詳細設定」を選択した場合、同じ形式^{*1}のデバイスが接続されているポートのみ複製の対象として選択することができます。

*1. ベンダID およびデバイスID が同一の IO-Link デバイスのことを指します。

- オフラインでの使用時
設定元のプロジェクトファイル設定値を、複製先のプロジェクトファイル設定値にコピーします。
- オンラインでの使用時
設定元のプロジェクトファイル設定値を、複製先のプロジェクトファイル設定値にコピーします。
また、設定内容を実機（IO-Link マスタユニット、IO-Link デバイス）に転送します。

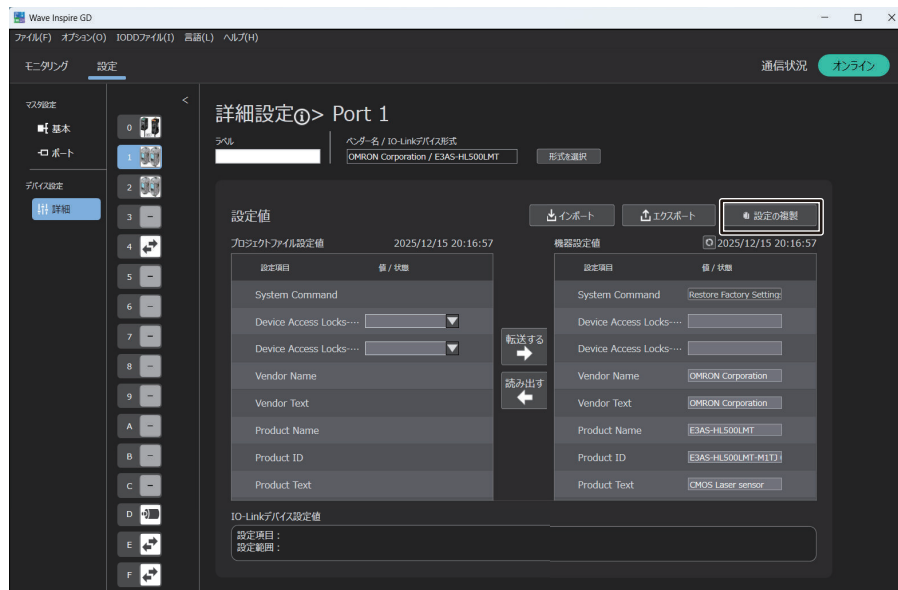
● 複製の手順

- 1 デバイス設定の【詳細】ボタンをクリックし、複製元とするポートを選択します。**
ポート設定からも同様の手順で複製できます。
(注) 設定差分  が表示されているポートは複製元として選択しないでください。



複製元とするポートを選択してください。

- 2 【設定の複製】ボタンをクリックします。**



3 複製の対象を選択します。



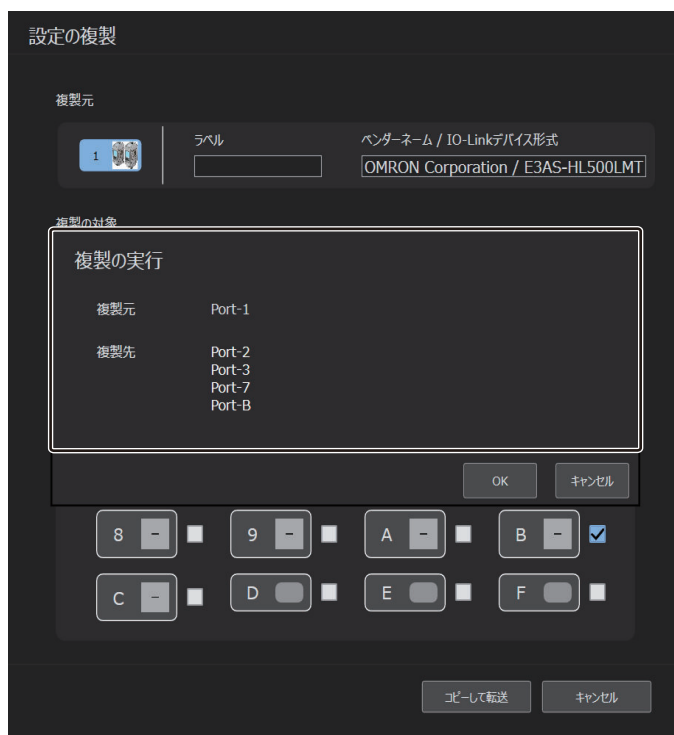
4 複製先を選択します。

複製先のポートにチェックを入れます。複製先は複数選択することができます。

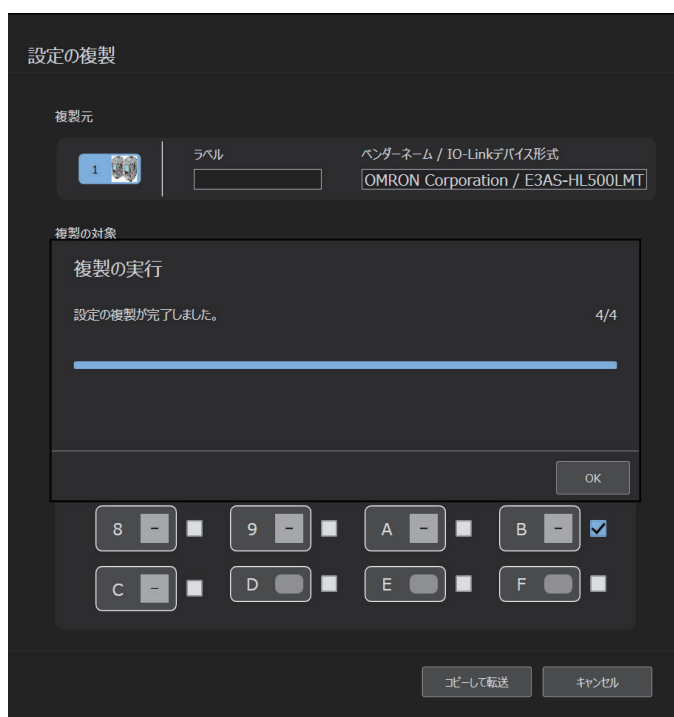
5 [コピーして転送] ボタンをクリックし、複製を実行します。

確認画面が表示されます。

6 複製元と複製先を確認し、[OK] ボタンをクリックします。



複製が完了します。



3-8 エクスポート・インポート

インポートとエクスポートを使用して、別のプロジェクトファイルに設定をコピーできます。

3-8-1 エクスポート・インポート機能

● インポート

xml 形式のファイルを読み込み、プロジェクトファイル設定値の内容に反映します。



使用上の注意

- ・エクスポートファイルとインポート先でマスタ形式が異なる場合、インポートできません。
- ・エクスポートファイルとインポート先でデバイス形式が異なる場合、詳細設定はインポートできません。

● エクスポート

プロジェクトファイル設定値の内容を xml 形式で出力します。



使用上の注意

詳細設定のエクスポートは、IO-Link デバイスが接続されている場合のみ実行できます。

3-8-2 エクスポート・インポート対象

「インポート」、「エクスポート」ボタンは、基本設定画面、ポート設定画面、デバイス設定画面で表示されます。

画面により、エクスポート、インポートされる設定の対象が異なります。

・ 設定の対象

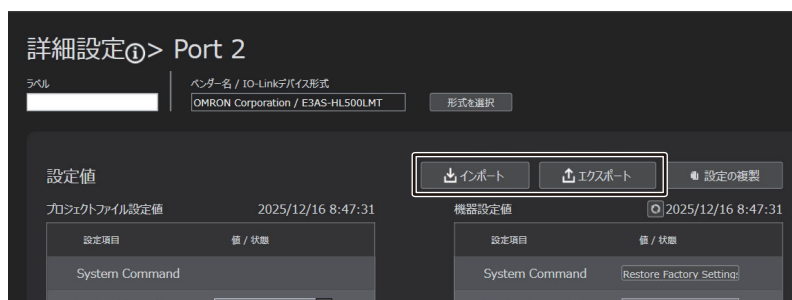
基本設定画面: マスタの基本設定



ポート設定画面: 表示されているポートのポート設定

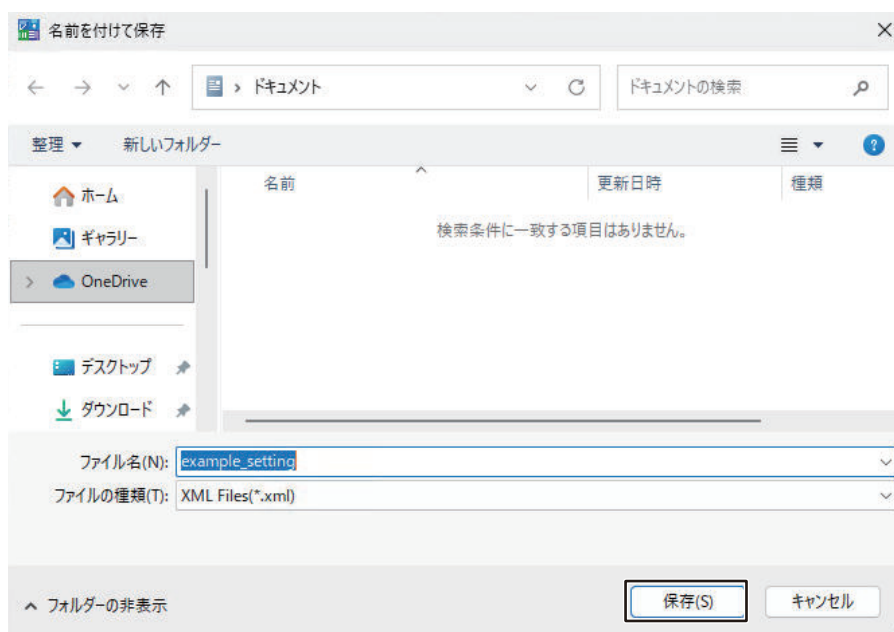


詳細設定画面: 表示されているポートの詳細設定



3-8-3 エクスポート

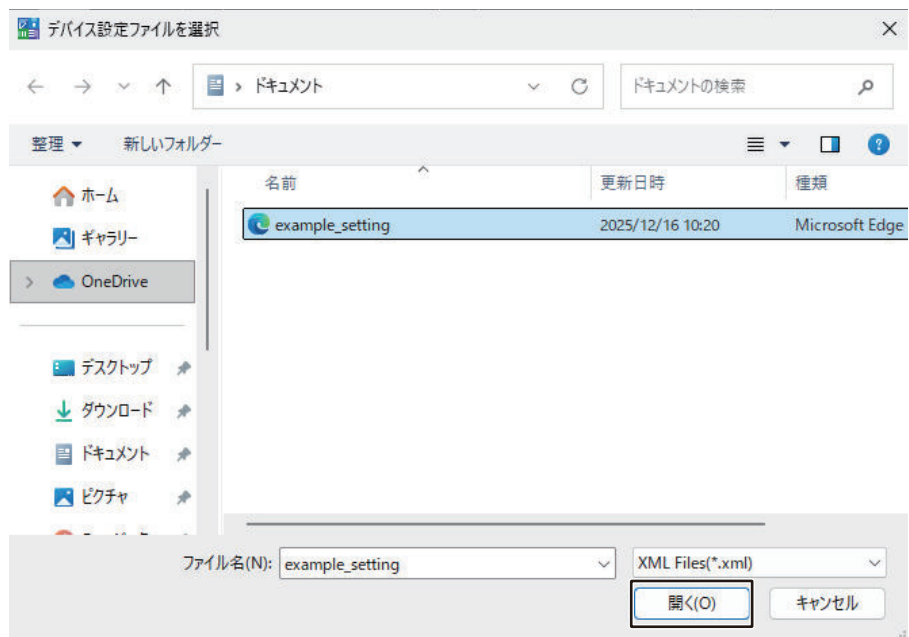
- 1 [エクスポート] ボタンをクリックします。
- 2 保存先の指定、ファイル名の入力を行い、[保存] ボタンをクリックします。



3-8-4 インポート

- 1 [インポート] ボタンをクリックします。

2 保存先の指定、ファイル名の入力を行い、[開く] ボタンをクリックします。



3-9 IODD ファイル設定

IODD ファイルを確認、追加、削除する手順を説明します。

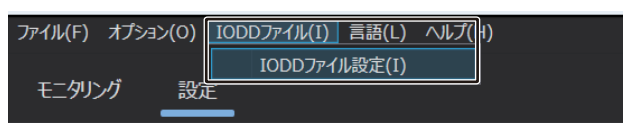


使用上の注意

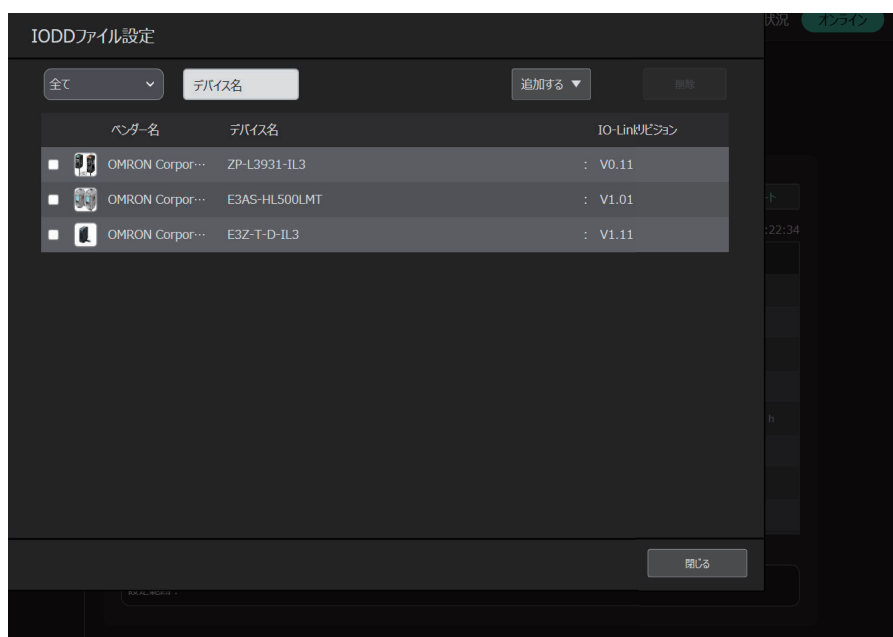
本ツールで対応している IODD リビジョンは 1.1 のみです。

3-9-1 本ツールに追加されている IODD ファイルを確認する

- 1 [ツールバー] - [IODD ファイル(I)] - [IODD ファイル設定(I)] をクリックします。



IODD ファイル設定画面にファイルの一覧が表示されます。





参考

- IODD ファイル数が多い場合、ベンダー名でフィルタすることができます。

IODDファイル設定

全て ▼ デバイス名 追加する ▼ 削除

ベンダー名	デバイス名	IO-Linkバージョン
OMRON Corpor...	E3Z-T-D-IL3	: V1.11

- 特定の IODD ファイルを確認したい場合、デバイス名で検索することができます。

IODDファイル設定

全て ▼ デバイス名 追加する ▼ 削除

ベンダー名	デバイス名	IO-Linkバージョン
OMRON Corpor...	E3Z-T-D-IL3	: V1.11

3-9-2 IODD ファイルを追加する

IODD ファイルを追加する方法は以下の 2 とおりがあります。

方法	説明
簡単検索から追加する	IODD ファインダーに掲載されている IODD ファイルをダウンロードします (インターネットの接続が必要です)。
ファイルから追加する	所有している IODD ファイルをツールに追加することができます。

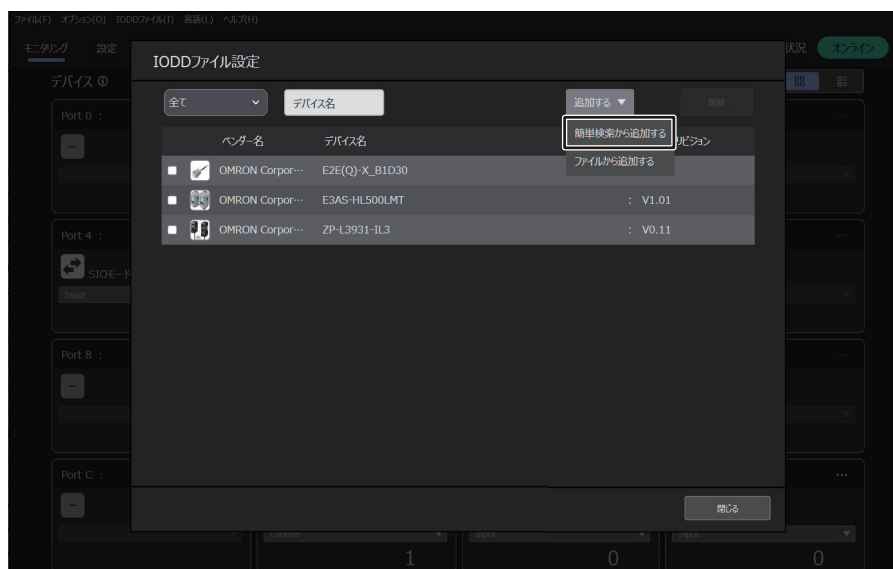
● 簡単検索から追加する



使用上の注意

インターネットへの接続が必要です。

- 1 [ツールバー] - [IODD ファイル(I)] - [IODD ファイル設定(I)] をクリックします。
- 2 [追加する] - [簡単検索から追加する] をクリックします。

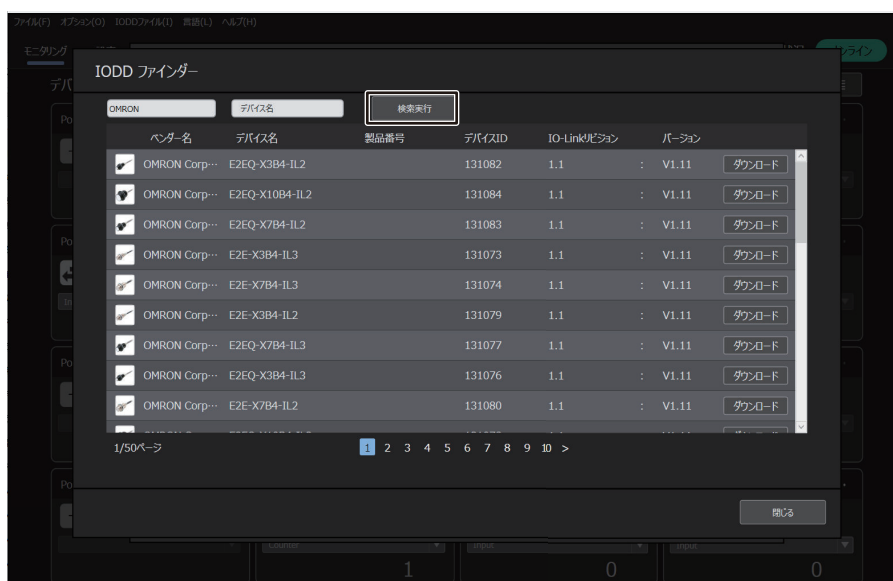


- 3 ベンダー名、デバイス名を入力し、[検索実行] をクリックします。

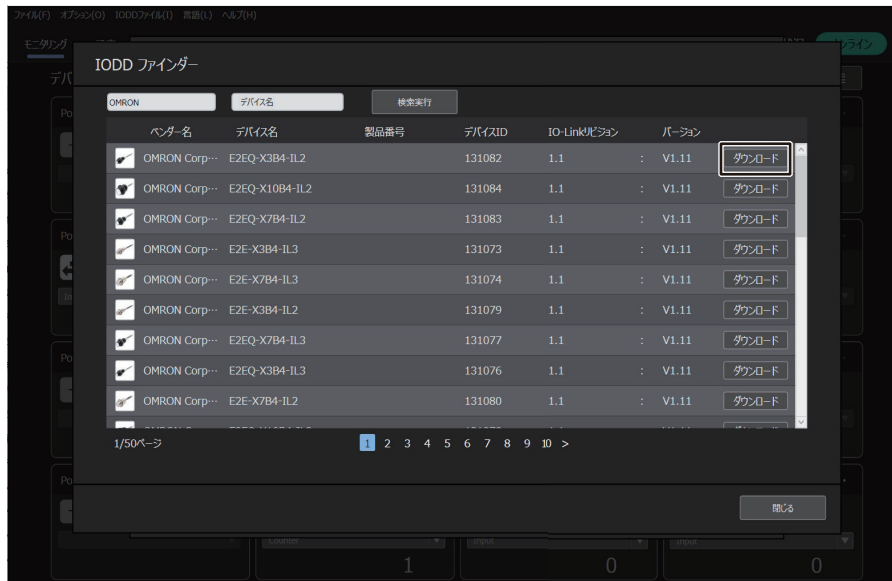


使用上の注意

本ツールで対応している IODD リビジョンは 1.1 のみです。簡単検索に表示される IODD ファイルは、IODD リビジョン 1.1 のファイルのみです。



- 4 [ダウンロード] をクリックします。



● ファイルを追加する

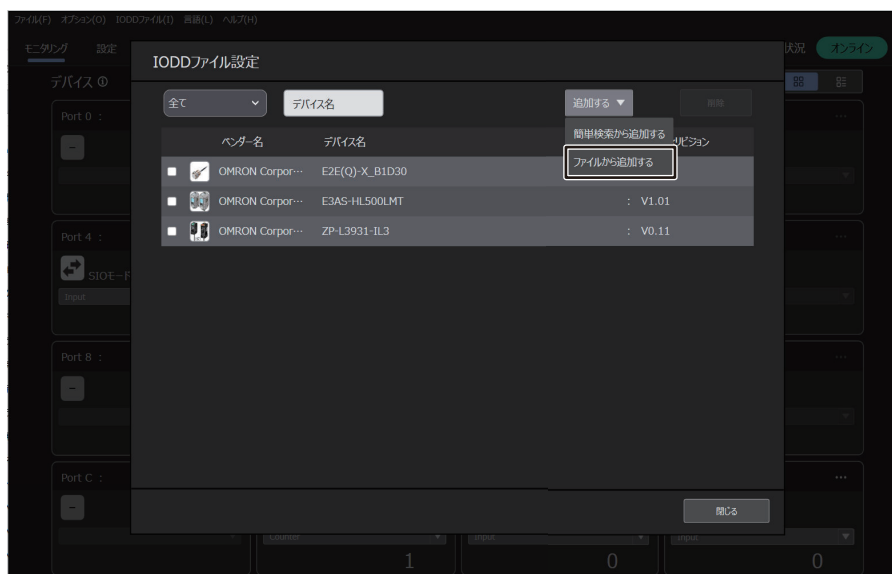


使用上の注意

- ・ 追加する IODD ファイルをあらかじめローカルに保存してください。
- ・ 本ツールで対応している IODD リビジョンは 1.1 のみです。IODD リビジョン 1.0 のファイルは追加しないでください。
- ・ 本ツールが認識できる IODD ファイルは 1 形式につき 1 ファイルです。バージョン違いの IODD ファイルを追加する場合など同一形式の IODD ファイルを追加したい場合は、あらかじめ旧バージョンの IODD ファイルをツールより削除してから追加してください。(IODD ファイルの削除方法は「3-9-3 IODD ファイルを削除する (P.3-25)」を参照してください)

1 [ツールバー] - [IODD ファイル(I)] - [IODD ファイル設定(I)] をクリックします。

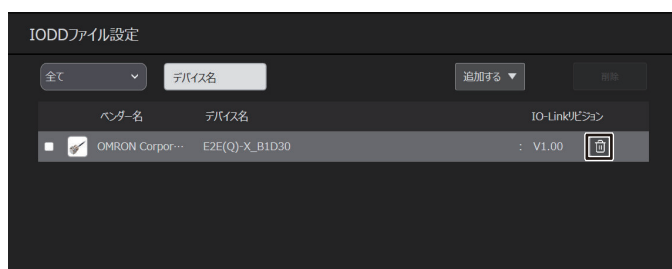
2 [追加する] - [ファイルから追加する] をクリックします。



3 追加するファイル (IODD ファイル) を選択し、[開く] ボタンをクリックします。

3-9-3 IODD ファイルを削除する

- 1 [ツールバー] - [IODD ファイル(I)] - [IODD ファイル設定(I)] をクリックします。
- 2 削除したいデバイスの行にマウスを合わせます。
- 3 ゴミ箱アイコンをクリックします。



確認のポップアップウィンドウが表示されます。

- 4 [削除] をクリックします。



3-10 オフライン時の使用例

オフライン時でプロジェクトファイルを作成し、IO-Link デバイスに割り付けることができます。起動までの手順は「1-7 起動・接続 (P.1-14)」を参照してください。

以下ではオフラインで設定画面が表示されたあと、IODD ファイルを割り付けるまでの手順を説明します。

(例) ポート 0 にオムロン製光電センサ形 E3AS-HL500LMT を割り付ける場合

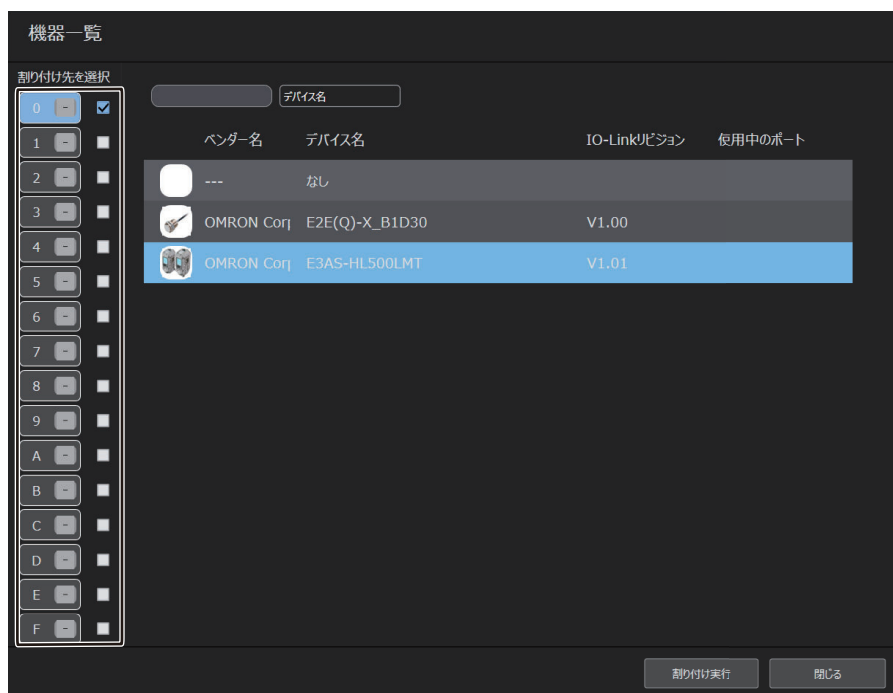
- 1 設定画面を開きます。
- 2 [ポート設定] 画面からポート 0 の「M10. I/O 機能設定」で「IO-Link モード」を選択します。



- 3 [形式を選択] ボタンをクリックします。



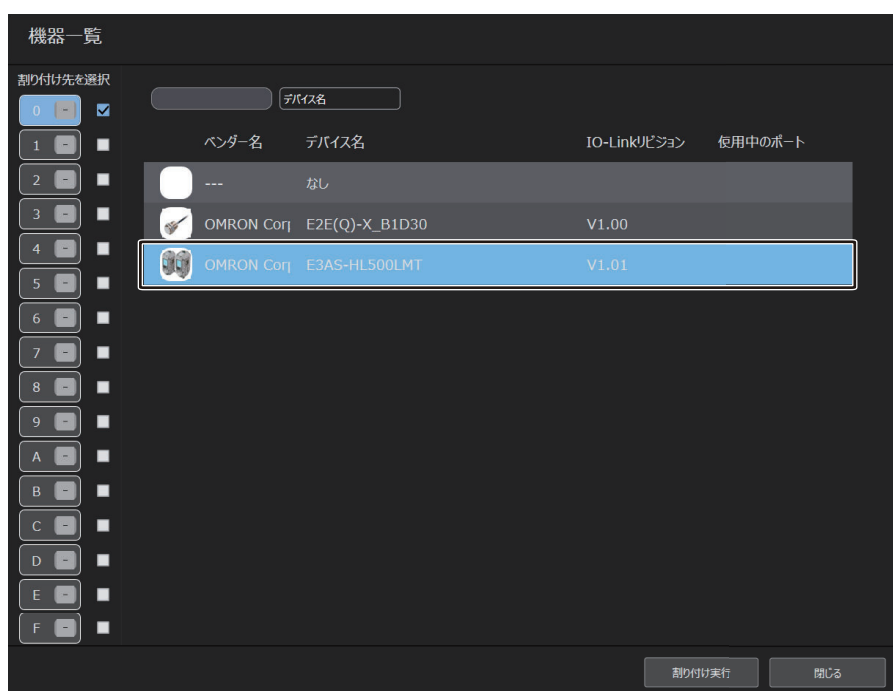
- 4 割り付け先を選択します。
この例ではポート 0 を選択します。



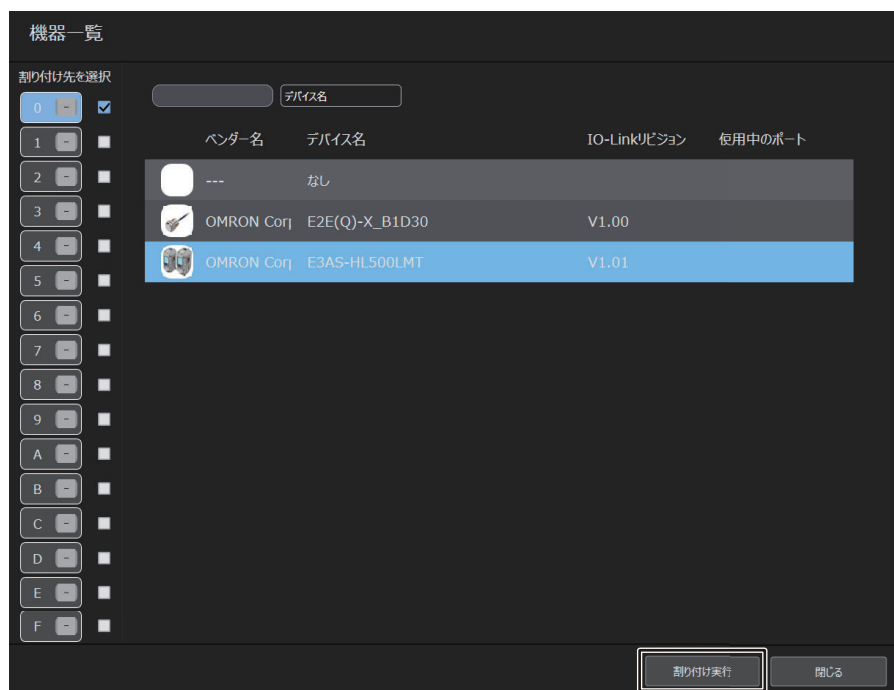
使用上の注意

「M10. I/O 機能設定」で「IO-Link モード」となっているポートのみを割り先として選択できます。
複数のポートを選択して割り付けることもできます。

- 5 割り付けるデバイスを選択します。
IODD ファイルが不足している場合は、「3-9 IODD ファイル設定 (P.3-21)」から追加してください。



- 6 「割り付け実行」をクリックします。



4

トラブルシューティング

4-1	エラー表示	4-2
4-1-1	ワーニング／エラー表示	4-2
4-1-2	ツールバーエラー表示	4-2
4-2	よくあるご質問.....	4-4

4-1 エラー表示

本ツールのエラー表示は次の 2 つがあります。

- ワーニング／エラー表示
おもにモニタリング画面に表示されるポートごとのエラーです。IODD ファイルの設定や IO-Link デバイスでのエラーなどを表示します。
- ツールバーエラー表示
ツールバーで表示されるエラーです。IO-Link マスタユニットのエラーや IO-Link マスタユニットとの通信エラーなどを表示します。

4-1-1 ワーニング／エラー表示

異常発生時は、モニタリング画面のグリッド表示またはリスト表示にエラーが表示されます。ここではワーニングまたはエラー発生時の解消について説明します。

● ワーニング／エラー表示の一覧

ワーニング表示画面	エラー内容	解消方法
 デバイス未設定 [IO-Linkデバイス形式]が設定されていません。[詳細設定]からデバイス形式を設定してください。	以下の場合に表示されます。 • 接続された IO-Link デバイスの IODD ファイルを本ツール側で保有していない場合 • プロジェクトファイルに設定されている IO-Link デバイスの IODD ファイルを本ツール側で保有していない場合	以下を実行してください。 1. IODD ファイルを追加します。 (「3-9 IODD ファイル設定 (P.3-21)」を参照) 2. [形式を選択] でポートに IODD ファイルを割り付けます。
 デバイス切断 デバイスとの通信が切断しました。IO-Link マスタとデバイス間の配線状態を確認してください。	以下の場合に表示されます。 • IO-Link マスタユニットと IO-Link デバイスとの通信にエラーが起きた場合	以下を順に実行してください。 1. IO-Link デバイスと IO-Link マスタユニットの配線を確認します。 2. IO-Link マスタユニットを再起動したあと、本ツールを再起動します。
 デバイス不一致 [IO-Linkデバイス形式]が一致しません。[詳細設定]から適切なデバイス形式を設定してください。	以下の場合に表示されます。 • プロジェクトに設定されたデバイス形式と実際にマスタに接続されているデバイス形式が一致していない場合	• プロジェクトファイルに合わせる場合 プロジェクトファイルに設定されているデバイスに差し替えたあと、本ツールを再起動してください。 • 実機構成に合わせる場合 詳細設定画面の [形式を選択] から実機に合わせたデバイスを選択してください。
 デバイスエラー IO-Link デバイスでエラーが発生しました。IO-Link マスタとツールを再起動してください。	以下の場合に表示されます。 • IO-Link デバイスでエラーが起きた場合	IO-Link デバイスのエラー状態を解除したあと、IO-Link マスタユニットと本ツールを再起動してください。 デバイスのエラーについては、各デバイスのマニュアルなどを確認してください。

4-1-2 ツールバーエラー表示

マスタとの通信エラーやマスタでのエラーはツールバーに表示されます。

● マスタエラー

マスタでエラーが起きると、ツールバーにマスタのステータスとして表示されます。



エラーコードと対処法は、マスタのマニュアルを参照してください。

● 通信エラー

マスタと本ツールとの通信が切断されると、以下のようなカウントダウン（10 秒）が表示されます。



カウントダウン終了後、[再接続] ボタンが表示されます。



LAN ケーブルの接続を確認したあと、[再接続] ボタンをクリックしてください。
接続に成功するとオンラインに復帰します。接続に失敗した場合は「オフライン」のままです。

4-2 よくあるご質問

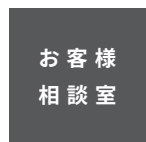
トラブルが発生した場合の対処方法を説明します。

発生工程	症状	推定原因	対処方法	参照先
起動時	ネットワークアダプタに選択肢が表示されない。	- ネットワークアダプタが接続されていない。 - パソコンで認識されていない。	ネットワークアダプタが正しく接続されているか確認してください。	
		本ツール起動後にネットワークアダプタがパソコンに接続・認識された。	接続モードの選択画面で「接続を更新」ボタンをクリックして更新してください。	
	パソコンの IP アドレスの設定ができない。		IP アドレス設定ツール(IPAddressSetup)をご使用ください。	「1-5 IP アドレスの設定(パソコン)(P.1-7)」
	機器を検索してもデバイスが表示されない。	マスタに電源が入っていない。	マスタが正しく起動しているか確認してください。	
		Ethernet ケーブルが接続されていない。	正しく Ethernet ケーブルが接続されているか確認してください。	
		Ethernet ケーブルの規格が誤っている。	通信経路内のすべての機器およびケーブルが 1000BASE-T(Gigabit Ethernet)に対応していることを確認し、1000BASE-T 対応の Ethernet ケーブルを使用してください。 マスタユニット設定「M83. IE TSN Class 設定」が「Class A 100M」以外の場合、1000BASE-T の環境でないと接続できません。	
		選択しているネットワークアダプタが間違えている。(パソコンに複数のネットワークアダプタが存在する場合)	正しいネットワークアダプタを選択してください。	「1-7 起動・接続(P.1-14)」
		IP アドレス設定が誤っている。	- パソコンの IP アドレスを確認してください。 - マスタの IP アドレス設定を確認してください。	「1-6 IP アドレスの設定(マスタユニット)(P.1-12)」
		マスタの IP アドレスが重複している。(マスタが複数ある場合)	マスタの IP アドレス設定を確認してください。	「1-6 IP アドレスの設定(マスタユニット)(P.1-12)」
		ネットワーク上に多くのデバイスが接続されており、検索に時間がかかる。	接続モードの選択画面内で検索するネットワークで IP アドレスの範囲を限定して検索してください。	「1-7 起動・接続(P.1-14)」
		マスタの通信設定が本ツール対象外の設定となっている。	マスタユニット設定で「M2. ネットワーク種類」が「CC-Link IE Field」の場合、本ツールと接続できません。マスタと上位 PLC での CC-Link IE Field 通信を切断し、本ツールと接続してください。 マスタの本体ボタン操作でネットワーク種別を変更してください。	
IODD ファイルの追加	IODD ファイルの「簡単検索から追加する」で該当する IODD ファイルが表示されない。	インターネットに接続されていない。	インターネットに接続してください。接続できない環境の場合は手で IODD ファイルを追加してください。	「3-9-2 IODD ファイルを追加する(P.3-22)」
		該当 IODD ファイルが IODD ファインダーに表示されない(本ツールでは IODD ファインダーという Web サービスを経由して IODD ファイルをダウンロードしています)。	各ベンダの Web サイトなどに掲載されている IODD ファイルをダウンロードし、ファイルから手動で追加してください。	「3-9-2 IODD ファイルを追加する(P.3-22)」
		IODD ファイルのバージョンが 1.1 以外。	本ツールでは IODD1.1 以外のデバイスは使用できません。	

発生工程	症状	推定原因	対処方法	参照先
設定画面	詳細設定画面で表示されない項目設定がある。	本ツールでの表示対象となっていない項目の可能性があります。	監視目的の一部パラメータは本ツールでは表示されません。	
	詳細設定画面で転送しても実機に反映されない項目がある。	表示されている設定項目の中には、現在のデバイス状態では無効、または使用されないものが含まれる場合があります。	各設定項目の有効条件や使用可否については、各デバイスのベンダが提供するマニュアルなどを参照してください。	
モニタリング画面	接続している IO-Link デバイスが表示されない。	IODD ファイルが本ツールに追加されていない。	接続しているデバイスの IODD ファイルを本ツールに追加してください。	「3-9-2 IODD ファイルを追加する (P.3-22)」
		マスタユニットの「M10. I/O 機能設定」が「IO-Link」以外に設定されている。	ポート設定画面から「M10. I/O 機能設定」を「IO-Link」に設定してください。	

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先



0120-919-066

携帯電話の場合、

055-982-5015 (有料) をご利用ください。

受付時間: 9:00~17:00 (土・日・12/31~1/3を除く)

クイック

オムロン



オムロンFAクイックチャット

www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/

技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。(I-Webメンバーズ限定)

受付時間: 平日9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土日祝日・年末年始・当社休業日を除く)

※受付時間、営業日は変更の可能性がございます。最新情報はリンク先をご確認ください。



その他のお問い合わせ: 納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。



オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。緊急時のご購入にもご利用ください。

www.fa.omron.co.jp

- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物(又は技術)に該当するものを輸出(又は非居住者に提供)する場合は同法に基づく輸出許可、承認(又は役務取引許可)が必要です。

オムロン商品のご用命は

Man. No. **SWAQ-718B**

2026年3月現在

©OMRON Corporation 2026 All Rights Reserved.

お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください